

MONITOR WITH DVD RECEIVER

取扱説明書

株式会社 JVCケンウッド

DDX6190BT

DDX4190BT

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

My-Kenwood（ユーザー登録）のご案内

お買い上げいただきました製品を「登録」していただくと、ご使用いただいている製品のサポート情報のほかに、関連製品情報やイベント情報などをご案内いたします。



下記ウェブサイトで会員規約をご確認になり、My-Kenwoodをご利用ください。

<https://jp.my-kenwood.com>




安全上のご注意（必ずお守りください）

あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。

- 表示を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区別して、説明しています。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

- お守りいただく内容の種類を絵記号で区別して、説明しています。

	注意（しなければならない）の内容です。
	禁止（してはいけない）の内容です。
	実行（かならず行っていただく）の内容です。

取り付けや配線について



本機はDC12V ⊖アース車以外で使用しない

火災や故障の原因になります。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。

エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に取り付けと配線しない
エアバッグが誤動作し、死亡事故の原因になります。エアバッグ装着車に取り付ける場合は、車両メーカーに作業上の注意事項を確認してください。

取り付けやアース配線に車の保安部品（ステアリング、ブレーキ、タンクなど）のボルトやナットを絶対に使用しない
制御不能や発火、交通事故の原因となります。

視界や運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けない
交通事故やケガの原因となります。



取り付け・配線は、安全のため専門技術者に依頼する

取り付け・配線、取り外し、周辺機器の追加は専門技術が必要です。誤った取り付けや配線をするると車に重大な支障をきたし交通事故の原因となります。安全のため必ずお買い上げの販売店にご相談ください。

説明書に従って取り付け・配線をする

火災や故障の原因となります。作業は手順どおりに正しく行ってください。

作業前に必ずバッテリーの⊖端子を外す

外さずに作業をするとショートによる感電やけがの原因となります。

作業前に、車体のパイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認する
車体に穴を開けて取り付けの場合はパイプ類・タンク・電気配線などに干渉・接触しないよう注意して、加工部のサビ止め・浸水防止処理をしてください。火災や感電の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

取り付けや配線について

警告



必ず付属の部品や指定の部品を使用する

機器の損傷や確実に固定できず外れて事故や故障、火災の原因となります。

コード類は、運転を妨げないように引き回し固定する

ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと、交通事故の原因となります。

車体やネジ部分、シートレールなどの可動部にコードを挟み込まないように配線する

断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となります。

コードの被覆のない部分はテープなどで絶縁する

被覆がない部分が金属部に接触するとショートによる火災や感電、故障の原因となります。

パーキング検出（パーキングブレーキ）コードは正しく配線する

正しく配線しないと安全機能が動かず、交通事故の原因となります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確認する

車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や交通事故の原因となります。

ねじなどの小物部品は乳幼児の手の届かないところに置く

あやまって飲み込むおそれがあります。万一、お子さまが飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意



自動車のコンソールに取り付ける

本機の使用時または使用直後は、本機の背面や側面などの金属部分が高温になっています。直接触れるとやけどの原因となることがあります。取り外すときなどご注意ください。



直射日光やヒータの熱風が直接当たる場所に取り付けない

機器の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となることがあります。

水のかかる場所や湿気・ほこり・油煙の多い場所に取り付けない
水や油煙などが入ると、発煙や発火、故障の原因となることがあります。

機器の通風口や放熱板をふさがない

機器の内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。

コードの扱いに注意する

コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因となることがあります。



使用方法について

警告



分解・修理および改造はしない

分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのとは絶対におやめください。交通事故や火災、感電、故障の原因となります。



音量は、車外の音が聞こえない音量で使用しない

車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。

安全上のご注意（必ずお守りください）

使用方法について

警告



機器内部に、水や異物を入れない

金属物や燃えやすいものが入ると、動作不良やショートによる火災や発煙、発火、感電の原因となります。飲み物などが機器にかからないようにご注意ください。

故障や異常な状態のままで使用しない

画像が映らない、音が出ない、異物が入った、水がかかった、煙が出る、異音・異臭がする場合は、ただちに使用を中止してください。事故や火災、感電の原因となります。

運転者は走行中に操作したり、画像や表示を注視したりしない

必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを引いた状態でご使用ください。交通事故の原因となります。



雷が鳴り出したら、アンテナコードや本機に触れない

落雷による感電の原因となります。



ヒューズは、必ず規定容量品を使用し、交換は専門業者に依頼する

規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。交換は、お買い上げの販売店、またはお近くのサービス窓口にご相談してください。

注意



本機を車載用以外で使用しない

発煙や発火、感電やけがの原因となることがあります。



可動部やディスク挿入口に手や指を入れない

モニター開閉や角度調整の時にはご注意ください。けがの原因となることがあります。

異常時の問い合わせ

警告



異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ず販売店かサービス窓口にご相談する

そのまま使用すると、思わぬ事故や火災、感電の原因となります。

ご使用の前に

本機をご使用になる前に、以下の点に注意してください。

本機の異常にお気づきのときは（本機のリセットのしかた）

本機の異常にお気づきのときは、「故障かな？と思ったら」をご覧ください。項目を確認してください。（41 ページ）

解決方法が見つからない場合は、本機をリセットしてください。本機をリセットしても異常がある場合は、本機の電源を切り、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

本機について

寒い場所または暑い場所で長時間駐車した場合は、車内が常温に戻ってから本機を操作してください。

モニター画面について

- 本機のモニターは高い精度で製造されておりますが、不良なドットが存在する場合があります。これは避けられるものではなく、故障ではありません。
- 画面を見る角度によって、表示が見にくくなる場合があります。これは避けられるものではなく、故障ではありません。
- モニターを直射日光に当てないでください。
- タッチパネルをボールペンなどの先のとがったもので操作しないでください。
- タッチパネル上のボタンは、指で直接タッチしてください（手袋ははずしてください）。
- 画面に強い衝撃を与えないでください。
- 画面に保護フィルムを貼らないでください。

- 気温が非常に低い場合、または高い場合 ...
 - 内部で化学変化が起こり、故障の原因になります。
 - 画像がクリアに表示されない、または画像の動きが遅くなる場合があります。そのような環境では、画像と音声はずれる、または画質が低下する場合があります。

オートアンテナ搭載車に本機を取り付けるときはオートアンテナ搭載車に本機を取り付けているときは、本機の電源を入れるとアンテナが自動で伸びます。天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源を切るか、ラジオ以外のソースを選択してください。

音量設定について

デジタル機器は他のソースと比べて、ノイズが少なくなります。出力レベルが急に上がることでスピーカーが破損しないように、デジタル機器から再生する前には、音量を下げてください。

お手入れ

画面や操作ボタンが汚れたときは、市販のシリコンクロスなどの柔らかい布で拭いてください。汚れがひどいときは、中性洗剤にひたした布で汚れを拭き取ってから、乾いた布で洗剤を拭き取ってください。スプレー式のクリーナーを直接吹きかけると故障の原因になります。硬い布やシンナー、アルコールなどを使用すると、画面に傷がついたり文字が消えたりする場合があります。

免責事項について

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上に賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

使用上のご注意

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けています(受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。また、本機は、電気通信事業法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと
- 本機は2.4GHz帯の周波数を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。ほかの無線機器との電波干渉を防止するため、右記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

- 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
- その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は下記の通りです。

2.4 FH 1

- 2.4 : 2.4GHz帯を使用する無線機器です。
- FH : FH-SS変調方式を表します。
- 1 : 電波と干渉距離は10mです。

■■■ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約10 mです。鉄筋コンクリートや金属の壁等をはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHzの周波数帯域を利用する無線LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CSチューナー、VICSなどのアンテナ入力端子を持つAV機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第三者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

本書の読みかた

本書の中の画面やパネルは、操作方法を明確に伝えるための例です。そのため、実際の画面やパネルと異なる場合があります。

おもに**DDX6190BT**のイラストを説明に使用しています。

<> はタッチパネルに表示されるさまざまな画面/メニュー/操作/設定を表します。

[] はタッチパネル上のボタンを表します。

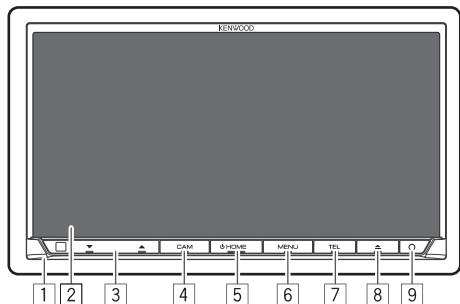
本機はKENWOOD Remoteアプリを使ってスマートフォンからも操作することができます。詳しくは<http://www.kenwood.com/jp/products/car_audio/app/>をご覧ください。

目次

安全上のご注意(必ずお守りください)	i	Bluetooth®	21
ご使用の前に	iv	情報	21
目次	2	準備	21
各部の名称とはたらき	3	接続	21
基本操作	4	Bluetooth対応の携帯電話を使用する	23
本機のリセット方法	4	Bluetoothオーディオプレイヤー	25
電源をオンにする	4	KENWOOD Music Mix	25
電源をオフにする	4	Bluetooth設定	26
本機をスタンバイ状態にする	4	設定	27
画面をオフにする	4	オーディオ設定	27
音量を調整する	4	画面設定	30
音量を一時的に小さくするには	5	入力設定	32
モニターパネルの操作 (DDX6190BTのみ)	5	システム設定	32
使ってみよう	5	取り付け / 接続	35
初期設定	5	本機を取り付ける前に	35
時計の設定	6	本機取り付け	36
さまざまな画面と操作	6	ケーブル接続	37
ホーム画面	6	外部機器を接続する	38
ソースコントロール画面	7	資料	38
リスト/設定画面	8	お手入れ	38
ディスク	9	詳細情報	38
映像	11	故障かな?と思ったら	41
USB	13	仕様	44
Android	14	商標およびライセンス	47
iPod/iPhone	15	保証とアフターサービス (必ずお読みください)	48
ラジオ	16		
Spotify	18		
その他の外部機器	20		
AV-IN	20		
リアカメラ	20		

各部の名称とはたらき

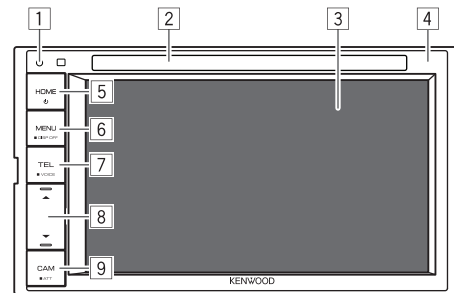
DDX6190BT



- 1 モニターパネル
- 2 画面(タッチパネル)
- 3 **VOLUME ▲/▼**ボタン
 - (押す): 音量を調整します。
- 4 **CAM/ATT**ボタン
 - **CAM** (押す): 接続したリアカメラの画像を表示します。
 - **ATT** (長押し): 音量を一時的に小さくします。
- 5 **HOME**ボタン
 - **HOME** (押す): 電源をオンにします。
 - **HOME** (長押し): 電源をオフにします。
 - **HOME** (押す): 電源がオンのときにホーム画面を表示します。

- 6 **MENU/DISP OFF**ボタン
 - **MENU** (押す): ショートカットメニューをポップアップ表示します。
 - **DISP OFF** (長押し): 画面表示をオフにします。
- 7 **TEL/VOICE**ボタン
 - **TEL** (押す): 電話画面を表示します。
 - **VOICE** (長押し): 音声ダイヤルを有効にします。
- 8 **▲**(イジェクト)ボタン
 - (押す): ディスクを取り出します。(モニターパネルが開きます。)
 - (押す): モニターパネルを開いたり閉じたりします。
- 9 リセットボタン
 - 本機をリセットします。

DDX4190BT



- 1 リセットボタン
 - 本機をリセットします。
- 2 ディスク挿入口
- 3 画面(タッチパネル)
- 4 モニターパネル
- 5 **HOME**ボタン
 - **HOME** (押す): 電源をオンにします。
 - **HOME** (長押し): 電源をオフにします。
 - **HOME** (押す): 電源がオンのときにホーム画面を表示します。
- 6 **MENU/DISP OFF**ボタン
 - **MENU** (押す): ショートカットメニューをポップアップ表示します。
 - **DISP OFF** (長押し): 画面表示をオフにします。
- 7 **TEL/VOICE**ボタン
 - **TEL** (押す): 電話画面を表示します。
 - **VOICE** (長押し): 音声ダイヤルを有効にします。
- 8 音量**▲/▼**ボタン
 - (押す): 音量を調整します。
- 9 **CAM/ATT**ボタン
 - **CAM** (押す): 接続したリアカメラの画像を表示します。
 - **ATT** (長押し): 音量を一時的に小さくします。

基本操作

本機のリセット方法

本機が正常に動作しない場合は、リセットボタンを押してください。

DDX6190BT



DDX4190BT



電源をオンにする

DDX6190BT



DDX4190BT



電源をオフにする

DDX6190BT



DDX4190BT



本機をスタンバイ状態にする

- 1 ソースと項目の選択画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



- 2 本機をスタンバイ状態にします。
ソースと項目の選択画面上で次のようにタッチします。



画面をオフにする

■モニターパネルで

DDX6190BT



DDX4190BT



画面をオンにするには: モニターパネルでDISP OFFを押すか、画面にタッチします。

■ポップアップショートカットメニューで

- 1 ポップアップショートカットメニューを表示します。

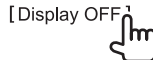
DDX6190BT



DDX4190BT



- 2 ポップアップショートカットメニューで次のようにタッチします。



画面をオンにするには: 画面にタッチします。

音量を調整する

DDX6190BT



DDX4190BT



音量を調整(00~35)するには、▲を押して大きくし、▼を押して小さくします。

- ・▲を押し続けると、音量が連続的にレベル15まで大きくなります。

基本操作

音量を一時的に小さくするには

DDX6190BT



DDX4190BT



ATTインジケータが点灯します。

音量を元の大きさに戻すには: 同じボタンをもう一度長く押しします。

モニターパネルの操作

(DDX6190BTのみ)

1 ホーム画面を表示します。



2 <パネル角度調整>画面を表示します。

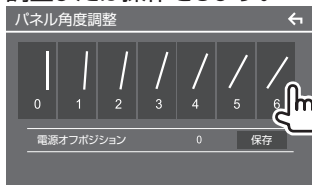
ホーム画面上で次のようにタッチします。



<設定>画面で、次のようにタッチします。

[画面] → <パネル角度調整>: [Enter]

3 調整または操作をします。



[0]~[6] パネル角度を選択します。
(本機の電源をオンにすると、
モニターパネルはこの角度に
なります。)

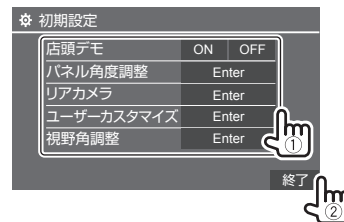
<電源オフポジション> 本機の電源または車両のエンジンスイッチをオフにしたときの
パネル角度を登録します。
• パネル角度を選択して、
[保存]をタッチします。

使ってみよう

初期設定

初めて電源をオンにしたときや、本機をリセットしたときは<初期設定>画面が表示されます。

初期設定を行います。



例: DDX6190BTの初期設定画面

完了すると、ホーム画面が表示されます。

<店頭デモ>

- **ON:** 店頭デモの画面を有効にします。
- **OFF (初期値):** 店頭デモの画面を無効にします。

<パネル角度調整>* (最左段参照。)

パネル角度を調整します。

<リアカメラ> (32ページ)

接続したリアカメラの画像を表示するように設定します。

<ユーザーカスタマイズ> (30ページ)

画面のデザインを変更します。

<視野角調整> (31ページ)

画面が見やすくなるように視野角を調整します。

- **0° (初期値) / 5° / 10° / 15° / 20°**

* DDX6190BTのみ。

時計の設定

1 ホーム画面を表示します。

DDX6190BT



DDX4190BT



2 <時計>画面を表示します。

ホーム画面上で次のようにタッチします。

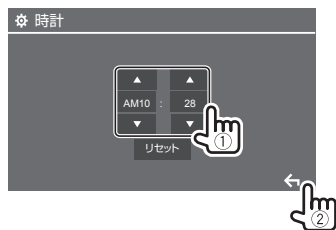


<設定>画面で、次のようにタッチします。

[システム] → <時計>: [Enter]

- ホーム画面の時計のエリアをタッチしても<時計>設定画面を表示することができます。

3 時刻を設定します。

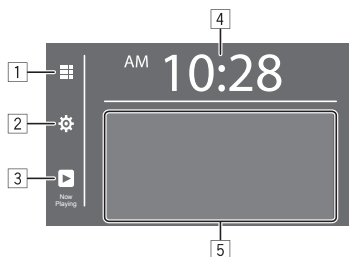


例: DDX6190BTの時計設定画面

いつでも情報の表示、AVソースの変更、設定の変更などの画面を表示できます。

ホーム画面

- ホーム画面をカスタマイズすることができます。(31ページ)
- 別の画面からホーム画面を表示するには、**HOME**を押します。

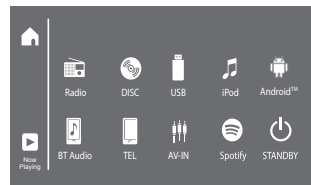


操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

- すべての再生ソースと項目を表示します。
- <設定>画面を表示します。
- 現在再生しているソースのコントロール画面を表示します。
- <時計>画面を表示します。
- 再生ソースを選択、または変更します。

■ 使用できる再生ソースと項目

①をタッチして、ソースと項目の選択画面を表示します。



例: DDX6190BTのソースと項目の選択画面
操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

[Radio]	ラジオ放送に切り替えます。
[DISC]	ディスクを再生します。
[USB]	USB機器上のファイルを再生します。
[iPod]	iPod/iPhoneを再生します。
[Android™]	Android機器を再生します。
[BT Audio]	Bluetoothオーディオプレイヤーを再生します。
[TEL]	電話機コントロール画面を表示します。
[AV-IN]	AV-IN入力端子に接続した外部機器に切り替えます。
[Spotify]	Spotifyアプリケーションに切り替えます。
[STANDBY]	本機をスタンバイ状態にします。

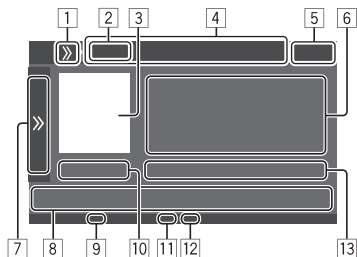
ホーム画面に戻るには: ソースと項目の選択画面で[🏠]をタッチします。

さまざまな画面と操作

ソースコントロール画面

再生中にソースコントロール画面で操作ができます。

- 表示される操作ボタンと情報は選択したソース、再生中のディスクタイプやファイルタイプによって異なります。
- 操作ボタンが画面に表示されていない場合は、画面をタッチして表示させます。



例: DDX6190BTのオーディオソースコントロール画面

- 1 ソース選択のショートカットボタンを表示または非表示にする
- 2 再生ソースまたはメディアタイプ
- 3 画像/アートワーク(曲がアートワークを含む場合に表示されます)
- 4 ソース選択のショートカットボタン
 - 1の[>>]をタッチしてボタンを表示するか、[<<]をタッチしてボタンを非表示にします。
- 5 時計表示
- 6 トラック/ファイル/曲/映像情報
 - テキストがすべて表示されない場合は、[<]をタッチするとスクロールします。

- 7 その他の使用できる操作ボタンを表示または非表示にします*
- 8 操作ボタン*
- 9 INインジケータ(ディスクの挿入中に点灯)
- 10 再生時間/再生状態
- 11 再生モードインジケータ(リピート/ランダム)
- 12 ファイルタイプインジケータ
- 13 現在の再生項目情報(フォルダ番号/ファイル番号/トラック番号/総トラック番号/再生ファイルタイプ)

* 次の「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」をご覧ください。

ソースコントロール画面の共通の操作ボタン

- 操作ボタンの見た目は異なりますが、似ている操作ボタンで同じ操作を行えます。
- 使用できる操作ボタンは、選択したソースや接続した機器によって異なります。

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

- 7 [>>] 8|に示すボタン以外で、使用できる操作ボタンを表示します。
 - ウィンドウを非表示にするには、[<<]をタッチします。
- [] [+] フォルダを選択します。
- [] リピート再生モードを選択します*。
- [] 再生を停止します。
- [MODE] 現在再生しているソースの設定画面を表示します。

- 8 [] <イコライザー>画面を表示します。
- [Q] フォルダリスト/トラックリスト/オーディオメニュー/映像メニューを表示します。
- [] [] • (タッチ)項目を選択します(チャプター/フォルダ/トラック/オーディオファイル/映像ファイル)。
 - (長押し)早戻し/早送りサーチを行います。
 - (長押し)映像の再生を一時停止中にスロー再生をします。
- [] 再生/一時停止します。
- [] ランダム再生モードを選択します*。

* 再生モード:

- 使用できる再生モードは、ソース、ディスクタイプ、接続した機器などによって異なります。
- リピート再生モードとランダム再生モードを同時に有効にはできません。
- 再生モードをキャンセルするには、インジケータが消えるまで繰り返しタッチします。

さまざまな画面と操作

■ ポップアップショートカットメニューを使用する

ソースコントロール画面を表示中に、ポップアップショートカットメニューの操作ボタンをタッチすると、他の画面に移動できます。

1 ポップアップショートカットメニューを表示します。

DDX6190BT



DDX4190BT



2 次のようにタッチして、移動先の項目を選択します。

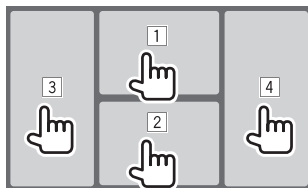
[TEL]*1	電話画面を表示します。
[Eject]*2	ディスク挿入口からディスクを取り出します。
[Screen Adjustment]	画像調整画面を表示します。
[Display OFF]	画面表示をオフにします。
[Camera]	接続したリアカメラの画像を表示します。
[SETUP]	<設定>画面を表示します。
[Current Source]	現在のソースコントロール画面を表示します。

*1 DDX6190BTのみ。

*2 DDX4190BTのみ。

ポップアップメニューを閉じるには: 画面上のポップアップショートカットメニュー以外の場所をタッチします。

■ 再生中の画面タッチ操作



エリアでタッチすると、次のように動作します。

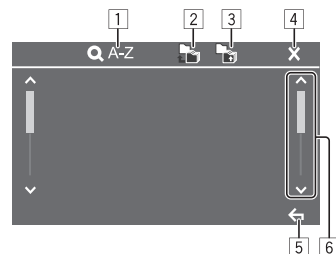
- 1 映像の再生中に、映像コントロールメニューを表示します。
- 2 映像の再生中: ソースコントロール画面を表示します。
オーディオファイルの再生中: 再生操作ボタンを表示します。
- 3 1つ前のチャプター/トラックに戻ります。*
- 4 次のチャプター/トラックに進みます。*

* 外部機器 (AV-IN) からの映像には使用できません。

リスト/設定画面

以下は、リスト/設定画面に表示される共通の操作ボタンです。

- 操作ボタンの見た目は異なりますが、似ている操作ボタンで同じ操作を行えます。
- 使用できる操作ボタンは、設定画面によって異なります。すべての画面に、これらの操作ボタンがすべて表示されるわけではありません。





操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

- 1 アルファベット検索*を開始して、項目をアルファベット順で一覧表示します。キーパッドが表示されたら、検索したい文字列の最初の文字をタッチします。
 - [USB]ソースでは、[■]または[♪]をタッチして、フォルダリストとファイルリストを切り替えることができます。[OK]をタッチして検索を始めます。
- 2 ルートフォルダに戻ります。
- 3 1つ上の階層に戻ります。
- 4 現在の画面を閉じます。
- 5 現在の画面を閉じるか、1つ前の画面に戻ります。
- 6 ページを切り替えて、表示されていない項目を表示します。

* 次の場合は、アルファベット検索は使用できません。

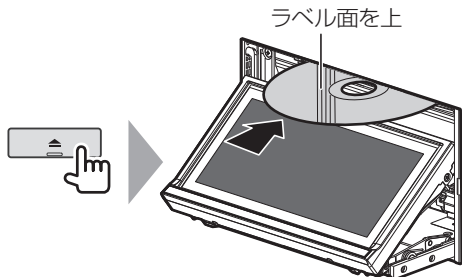
- Android機器のソース
- プレイリストの選択中

ディスク

- ディスクにディスクメニューがない場合、ソースを変更する、またはディスクを取り出すまですべてのトラックが繰り返し再生されます。
- 再生可能なディスクタイプ、ファイルタイプ、その他の情報は、38ページおよび39ページをご覧ください。
- 「」が表示されたときは、その操作ができません。
- 「」が表示されなくても、操作ができない場合があります。
- マルチチャンネルでエンコードされたディスクを再生するときは、マルチチャンネル信号はダウンミックスされます。

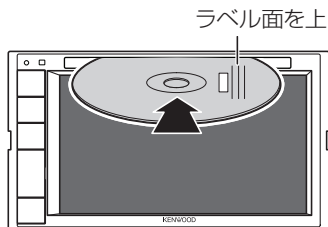
ディスクを挿入する

DDX6190BT



- ディスクを入れると、モニターパネルが自動で閉じます。

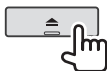
DDX4190BT



ソースが「DISC」に切り替わり、再生が始まります。
• ディスクの挿入中は、INインジケータが点灯します。

ディスクを取り出す

DDX6190BT



DDX4190BT

- 1 ポップアップショートカットメニューを表示します。



- 2 ディスクを取り出します。



- ディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
- 他のAVソースの再生中にもディスクを取り出すことができます。
- 取り出したディスクを15秒以内に取り出さないと、ほこり防止のために自動的に再びディスク挿入口に引き込まれます。

モニターパネルを閉じるには(DDX6190BTのみ):
ディスクを取り出した後、モニターパネルの▲を押します。

再生操作

■ オーディオの再生情報とボタン操作

- 再生情報に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面」をご覧ください。
- タッチパネルのボタン操作に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」をご覧ください。

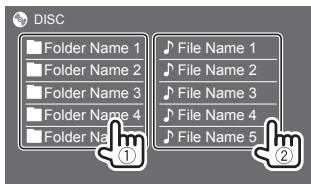
■ リストのフォルダ/トラックを選択する

- 1 フォルダ/トラックのリストを表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



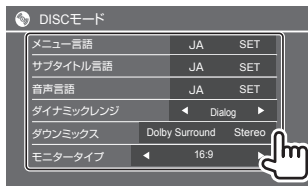
ディスク

- 2 フォルダを選択して(①)、フォルダ内の項目を選択します(②)。



それぞれの階層で項目を選択して、目的のファイルまで移動して選択します。

- 2 設定を行います。



<メニュー言語>*1

ディスクメニュー言語の初期値を選択します。(初期値: JA)

<サブタイトル言語>*1

字幕言語の初期値を選択します。または字幕をオフにします (OFF) (初期値: JA)

<音声言語>*1

音声言語の初期値を選択します。(初期値: JA)

<ダイナミックレンジ>

Dolby Audio対応のディスクでは、再生中にダイナミックレンジを変更できます。

- **Wide**: 低い音量でも、パワフルな音声をフルダイナミックレンジで再生します。
- **Normal**: ダイナミックレンジを少し下げます。
- **Dialog** (初期値): 映画のセリフなどをよりはっきりと再生します。

<ダウンミックス>

マルチチャンネルディスクを再生するとき、この設定はフロントおよび/またはリアスピーカーを通して再生される信号に影響します。

- **Dolby Surround**: ドルビーサラウンドに対応しているアンプに接続して、マルチチャンネルサラウンド音声で再生します。
- **Stereo** (初期値): ステレオ音声で再生します。

<モニタータイプ>

外部モニターでワイド画面の画像を見るとき、モニタータイプを選択します。

16:9 (初期値) 4:3 LB 4:3 PS



<ファイルタイプ>*2

ディスクにさまざまなタイプのファイルが含まれるときに、再生ファイルタイプを選択します。

- **オーディオ**: オーディオファイルを再生します。
- **静止画像**: 画像ファイルを再生します。
- **映像**: 映像ファイルを再生します。
- **オーディオと映像** (初期値): オーディオファイルと映像ファイルを再生します。

*1 言語コードのリストは、40ページをご覧ください。

*2 再生可能なファイルタイプは、38ページをご覧ください。

選択したタイプのファイルがディスクに含まれていない場合、ファイルはオーディオ、映像、静止画像の優先順位で再生されます。再生が停止しているときのみ、これらの設定は変更できます。

ディスク再生の設定

- <DISCモード>画面上に示される使用可能な項目は、再生しているディスク/ファイルのタイプによって異なります。

- 1 <DISCモード>画面を表示します。

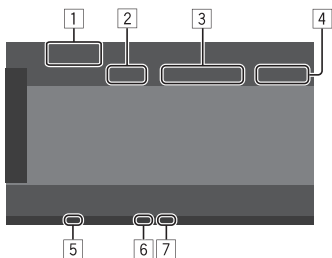
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



映像

再生操作

■ ソースコントロール画面上の映像再生情報



例: DDX6190BTの映像ソースコントロール画面

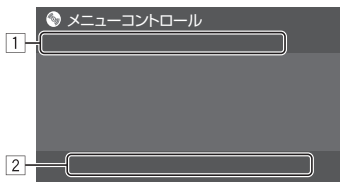
- 1 メディアタイプ
- 2 再生状態
- 3 現在の再生項目情報(タイトル番号/チャプター番号/フォルダ番号/ファイル番号/トラック番号)
- 4 再生時間
- 5 INインジケータ(ディスクの挿入中に点灯)
- 6 再生モードインジケータ(リピート/ランダム)
- 7 ファイルタイプインジケータ

■ 映像コントロールメニューの操作

映像再生中に、映像コントロールメニューを表示できます。

- 使用できる操作ボタンは、選択したディスクタイプおよびファイルタイプによって異なります。

ビデオCD以外の映像を再生する場合



例: DDX6190BTの映像コントロールメニュー画面

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

1

[ZOOM]*

画像サイズの選択画面を表示します。

- ① [ZOOM]をタッチして、画像の拡大レベル(ズーム1、ズーム2、ズーム3、フル:初期値)を変更します。
- ② [LEFT][DOWN][LEFT][RIGHT]をタッチして、拡大枠を移動します。

[Aspect]

アスペクト比選択画面を表示します。

[ASPECT]をタッチして、アスペクト比を選択します。

<フル>: 16:9オリジナル画像用

4:3信号 16:9信号



<ジャスト>: 4:3画像をワイド画面で違和感なく楽しめます。

4:3信号 16:9信号



<ノーマル>: 4:3オリジナル画像用

4:3信号 16:9信号



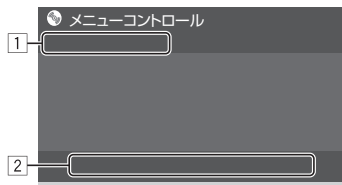
<オート>: 「DISC」ソースおよび「USB」ソースのみ: アスペクト比は入力信号に応じて自動で選択されます。

[Picture Adjust]	<p>画像調整画面を表示します。</p> <p>① [DIM ON]または[DIM OFF]をタッチして、ディマーをオンまたはオフにします。</p> <p>② [+]/[-]をタッチして、その他の項目を調整します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<明るさ>: 明るさを調整します。(−15~+15) ・<コントラスト>: コントラストを調整します。(−10~+10) ・<色の濃さ>: 色の濃さを調整します。(−10~+10) ・<色>: 色を調整します。(−10~+10) ・<色合い>: 色合いを調整します。(−10~+10) ・<鋭さ>: 鮮明度を調整します。(−2~+2)
[Audio]	音声形式を選択します。
[Subtitle]	<p>字幕形式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・DVD-VR: オーディオチャンネル(ST: ステレオ、L: 左、R: 右)を選択します。
[Angle]	アングルを選択します。

* **[Aspect]** が<ジャスト>または<オート>に設定されている場合、映像は<フル>設定のアスペクト比で拡大されます。
映像ソースによってはこの機能を使用できない場合があります。

[MENU]	ディスクメニュー(DVD)/プレイリスト(DVD-VR)を表示します。
[T MENU]	ディスクメニュー(DVD)/オリジナルプログラム(DVD-VR)を表示します。
[Highlight]	ダイレクトディスクメニューモードに切り替えます。選択する対象項目をタッチします。
[CUR]	<p>メニュー/シーン選択画面を表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・[▲][▼][◀][▶]: 項目を選択します。 ・[Enter]: 選択を確定します。 ・[Return]: 1つ前の画面に戻ります。

ビデオCDの映像を再生する場合



例: **DDX6190BT**の映像メニューコントロール画面

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

[1]	
[ZOOM]	
[Aspect]	11ページの「ビデオCD以外の映像を再生する場合」をご覧ください。
[Picture Adjust]	
[2]	
[MENU]	ディスクメニューを表示します。
[Audio]	オーディオチャンネル(ST: ステレオ、L: 左、R: 右)を選択します。
[Direct]*	<p>ダイレクト選択ボタンを表示/非表示にします。</p> <p>① [DIR/CLR]をタッチして、ビデオCD上でトラックを直接選択します。</p> <p>② 番号([0], [1]~[9])をタッチして、トラックを選択します。</p> <p>③ [Enter]をタッチして確定します。</p> <p>最後の入力を削除するには、[DIR/CLR]をタッチします。</p>
[Return]	1つ前の画面またはメニューを表示します。

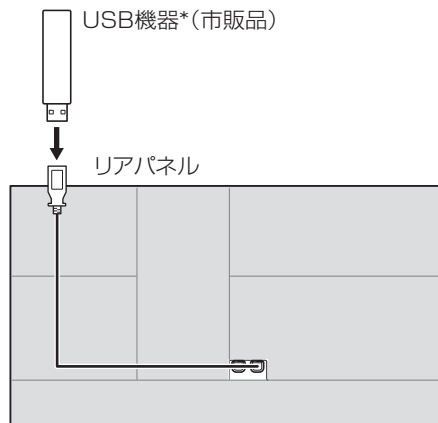
* PBC(プレイバックコントロール)が有効の状態
でビデオCDを再生しているときは、再生を停止してPBC機能を無効にしてください。

USB

USBメモリー、デジタルオーディオプレイヤーなどのUSBマスストレージクラスデバイスを本機に接続できます。

- 再生可能なファイルタイプやその他の情報は、38ページおよび40ページをご覧ください。
- コンピュータやポータブルHDDはUSB入力端子に接続できません。
- USB機器は、USBハブ経由では接続はできません。

USB機器を接続する



ソースが「USB」に切り替わり、再生が始まります。

- USB機器内のすべてのトラックが、ソースを切り替えるか、またはUSB機器の接続を解除するまで、繰り返し再生されます。

* ケーブルを延長する場合は、必要に応じてCA-UIEXを使用します。(最大 500 mA、5 V)

再生操作

再生情報およびボタン操作

- 再生情報に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面」をご覧ください。
- タッチパネルのボタン操作に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」をご覧ください。

再生するファイルタイプを選択する

再生するファイルタイプを指定できます。



例: DDX6190BTのUSBソースコントロール画面

ファイルタイプを次のように選択します。

[Audio] オーディオファイルを再生します。

[Video] 映像ファイルを再生します。

[Photo] 静止画像ファイルを再生します。

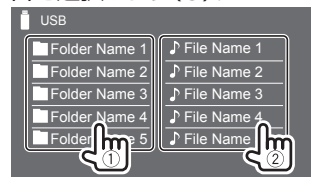
選択したタイプのファイルがUSB機器に含まれていない場合、ファイルはオーディオ、映像、静止画像の優先順位で再生されます。再生が停止しているときのみ、これらの設定は変更できます。

■ リストのフォルダ/トラックを選択する

- 1 フォルダ/トラックのリストを表示します。ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 フォルダを選択して(①)、フォルダ内の項目を選択します(②)。



例: DDX6190BTのUSBリスト画面

それぞれの階層で項目を選択して、目的のファイルまで移動して選択します。

■ アルファベット検索でフォルダ/トラックを選択する

(オーディオファイルのみ)

検索したい文字列の最初の文字を入力して、フォルダまたはオーディオファイルを検索できます。

- 1 検索するリスト(フォルダまたはトラック)を選択します。

USBリスト画面上で、次のようにタッチします。



- [■]: フォルダリスト
- [♪]: トラックリスト

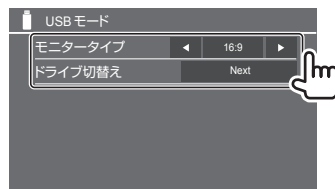
- 2 検索するアルファベットを入力します。検索したい文字列の最初の文字をタッチして、[OK]をタッチします。

USB再生の設定

- 1 <USBモード>画面を表示します。ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 設定を行います。



<モニタータイプ>

外部モニターでワイド画面の画像を見るとき、モニタータイプを選択します。

16:9(初期値) 4:3 LB 4:3 PS

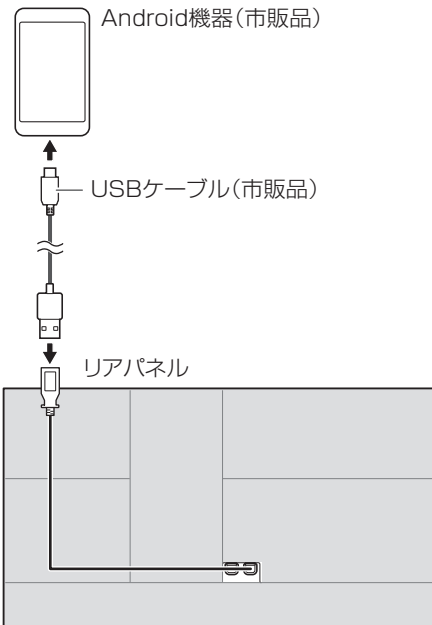


<ドライブ切替え>

- **Next:** 内部メモリと、接続機器(携帯電話など)のメモリソースのどちらかに切り替えます。

Android機器を接続する

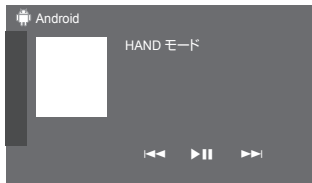
本機はAndroid OS 4.1以降に対応しています。



Android機器に接続する際は、「HANDモード」が表示されます。Android機器にインストールされているメディアプレーヤーのアプリを使用して、Android機器をコントロールできます。

再生操作

再生情報およびボタン操作



例: DDX6190BTのAndroidソースコントロール画面

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

⏮️ ⏪️ ⏩️ ⏭️ オーディオファイルを選択します。

⏸️ 再生/一時停止します。

Bluetooth接続

iPod/iPhoneと本機をBluetooth経由でペアリングします。(21ページ)

再生機器と接続方法を選択する

詳細は、33ページの<スマートフォン設定>をご覧ください。

再生操作

再生情報およびボタン操作

- 再生情報に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面」をご覧ください。
- タッチパネルのボタン操作に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」をご覧ください。

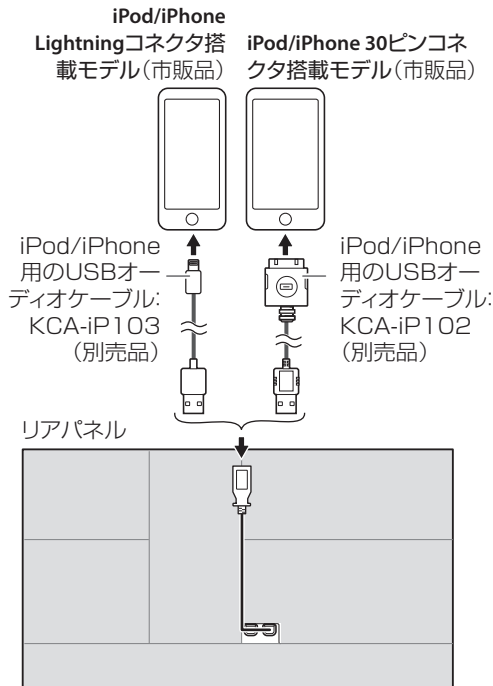
その他のボタンの操作: 操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

⏸️ / ⏪️ / ⏩️ <スマートフォン設定>画面で機器を切り替えます。(33ページ)

iPod/iPhoneを接続する

- 再生可能なiPod/iPhoneのタイプやその他の情報は、41ページをご覧ください。
- 映像を見ることはできません。

ケーブル接続



ソースが「iPod」に切り替わり、再生が始まります。

■ オーディオファイルをメニューから選択する

- 1 オーディオメニューを表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 カテゴリーを選択して①、項目を選択します②。



それぞれの階層で項目を選択して、目的のファイルまで移動して選択します。

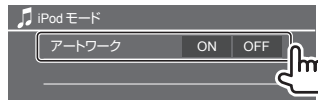
- 表示されるカテゴリーは、ご使用のiPod/iPhoneのタイプによって異なります。

iPod/iPhone再生の設定

- 1 <iPodモード>画面を表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 設定を行います。



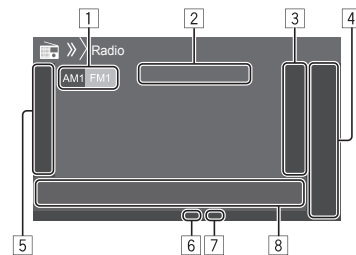
<アートワーク>

- **ON** (初期値): 再生中のファイルのアートワークを表示します。
- **OFF**: 再生中のファイルのアートワークを非表示にします。

ラジオ

ラジオを聞く

■ ソースコントロール画面上の再生情報



- 1 バンド(AM1/AM2/FM1/FM2)を選択します。
- 2 受信中の放送局の周波数
- 3 プリセットした放送局のウィンドウを表示します。(17ページ)
- 4 [P1] - [P5]
 - (タッチ)プリセットした放送局を選択します。
 - (長押し)受信中の放送局をプリセットします。
- 5 その他の使用できる操作ボタンを表示または非表示にする*
- 6 ST/MONOインジケータ
FMステレオ放送を十分な電波強度で受信しているときには、STインジケータが点灯します。
- 7 選局モードのインジケータ
- 8 操作ボタン*

* 17ページの「ソースコントロール画面上の操作ボタン」をご覧ください。

ラジオ

ソースコントロール画面上の操作ボタン

- 操作ボタンの見た目は異なりますが、似ている操作ボタンで同じ操作を行えます。
- 7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」もご覧ください。

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

5

- [MONO]*** FMの受信状態を良くするためにモノラルモードを有効にします。(ステレオ効果は失われます。)
- モノラルモードが有効なときはMONOインジケータが点灯します。
 - 無効にするには、もう一度**[MONO]**をタッチします。

8

- [AME ↓]** (長押し)放送局を自動でプリセットします。

- [SEEK]** 選局モード[◀◀]/[▶▶]を変更します。
- AUTO1** (初期値):自動選局
 - AUTO2**:プリセットした放送局を1つずつ受信
 - MANU**:手動選局

- [◀◀] [▶▶]** 放送局をサーチします。
- サーチ方法は選択した選局モードにより異なります(上記参照)。

* FMがソースとして選択されているときのみ表示されます。

放送局をメモリにプリセットする

各バンドにつき5局までプリセットできます。

■ 自動プリセット — AME(オートメモリー)

ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



信号が最も強い、その地域の放送局を自動で検出/プリセットします。

■ 手動プリセット

- 1 プリセットする放送局を受信します。

[◀◀]/[▶▶]



- 2 登録するプリセット番号を選択します。



例: DDX6190BTのラジオソースコントロール画面

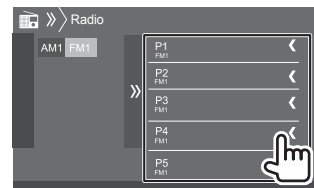
手順1で選択した放送局が、選択した番号[P1]~[P5]に登録されます。

プリセットした放送局を選択する

- 1 バンドを選択して、プリセットした放送局のウィンドウを表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 プリセットした放送局を選択します。



例: DDX6190BTのプリセットした放送局のウィンドウ

ウィンドウを非表示にするには[)]]をタッチします。

Spotify

Spotifyを使うと、あらゆる場所で音楽を楽しむことができます。ワークアウト、パーティー、そしてリラックスしたいとき。指先ひとつでその場面に合った音楽を選べます。Spotifyは昔からの愛唱歌から最新のヒット曲まで、数百万の楽曲をストック。好きな曲を自分で選んでも、SpotifyにおまかせでもOKです。

iPhone/iPod touchまたはAndroid機器から、Spotifyのストリーミング再生ができます。

- Spotifyは純正のサービスではないため、事前の告知をせずに仕様変更になる場合があります。また、互換性に不備をきたす場合や、一部またはすべてのサービスが利用できなくなる場合もあります。
- Spotifyの機能の中には、本機から操作できないものもあります。
- 操作などについては、<www.spotify.com> をご覧ください。

準備

■ アプリをインストールする

ご使用のスマートフォンがBluetooth内蔵で、以下のプロファイルに対応している必要があります。

- SPP(Serial Port Profile)
- A2DP(Advanced Audio Distribution Profile)

LTE、3G、EDGE、またはWi-Fiを使用してインターネットに接続してください。

ご使用のスマートフォンのアプリにログインしていることを確認してください。Spotify のアカウントをお持ちでない場合は、スマートフォンまたはwww.spotify.com から無料でアカウントを作成できます。

ご使用のスマートフォンに最新のSpotifyをインストールします。

- Android機器: Google Playで「Spotify」を検索して、最新バージョンをインストールしてください。
- iPhone/iPod touch: Apple iTunes App Storeで「Spotify」を検索して、最新バージョンをインストールしてください。

■ 機器を接続する

Android機器

Android機器と本機をBluetooth経由でペアリングします。(21ページ)

iPhone/iPod touch

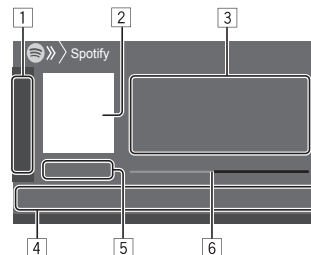
- USB入力端子で接続: iPhone/iPod touchをケーブルで接続します。(15ページ)
 - Lightningコネクタ搭載モデル: KCA-iP103(別売品)を使用します。
 - 30ピンコネクタ搭載モデル: KCA-iP102(別売品)を使用します。
- またはBluetoothで接続: iPhone/iPod touchと本機をペアリングします。(21ページ)

■ 機器を選択する

再生機器と接続方法の選択については、33ページの<スマートフォン設定>をご覧ください。

再生操作

■ 再生情報およびボタン操作



- 1 その他の使用できる操作ボタンを表示または非表示にします*
- 2 画像データ
- 3 トラック情報
 - テキストがすべて表示されない場合は、<[<]>をタッチするとスクロールします。
 - [▶] / [⏪] / [⏩] をタッチすると、表示される情報がアーティスト(♫)またはアルバム(Ⓢ)に変わります。
- 4 操作ボタン*
- 5 再生時間/再生状態
- 6 プログレスバー

* 19ページの「ソースコントロール画面上の操作ボタン」をご覧ください。

ソースコントロール画面上的操作ボタン

- 操作ボタンの見た目は異なりますが、似ている操作ボタンで同じ操作を行えます。
- 7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」もご覧ください。

操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

 ^{*1}	現在のトラックの再生をやめて、次のトラックを再生します。
 ^{*1}	現在のトラックをお気に入りの曲として登録します。
 ^{*2 *3}	ランダム再生モードを有効または無効にします。
 ^{*2}	すべてのトラックをリピート再生する、またはリピート再生をキャンセルします。
 ^{*2 *3}	現在のトラックをリピート再生する、またはリピート再生をキャンセルします。
	ステーションを新規に作成します。
	<スマートフォン設定>画面で機器を切り替えます。(33ページ)
4	
	Spotifyメニュー画面を表示します。
 ^{*3} 	トラックを選択します。
 	再生 (▶) / 一時停止 () します。
	現在再生しているトラック/アーティストを<Your Library>に保存します。

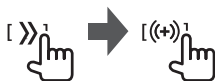
- *1 プレイリスト内のトラックにはできません。
- *2 ラジオ内のトラックにはできません。
- *3 Premium 会員のみ利用できます。

■ ステーションを作成する(Start Radio)



Start Radioで、現在再生しているトラックをもとにラジオのチャンネルを開始します。

ステーションを作成します。

ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



ステーションが作成され、再生が自動で始まります。

- サムアップ()やサムダウン()で、ステーションをカスタマイズできます。
 - プレイリスト内のトラックを再生しているときは、サムアップ/サムダウンは使用できません。
 - トラックによって、ステーションをカスタマイズできない場合があります。

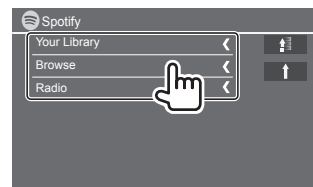
■ トラックを選択する



- 1 Spotifyメニュー画面を表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 リストタイプを選択して、項目を選択します。

- 表示されるリストタイプはSpotifyから送られる情報によって異なります。



- 最上位階層に戻るには、をタッチします。
- 1つ上の階層に戻るには、をタッチします。

その他の外部機器

AV-IN

■ 外部機器を接続する

詳細は、38ページをご覧ください。

■ 再生を開始する

- 1 ソースとして「AV-IN」を選択します。
- 2 接続した機器をオンにしてソースの再生を開始します。

■ AV-INの名称を変更する

ソースコントロール画面に表示されるAV-IN名称を変更できます。

• この設定はホーム画面に表示されるソース名称に影響を与えません。

- 1 <VIDEOモード>画面を表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 AV-IN 名称を選択します。



リアカメラ

リアカメラ(別売)に添付の説明書に従って適切な位置にリアカメラを設置します。

■ リアカメラを接続する

詳細は、38ページをご覧ください。

- リアカメラを使用するには、リバースリード(REVERSE)接続が必要です。(37ページ)

■ リアカメラを使用する

- リアカメラの設定に関する詳細は、32ページの<リアカメラ>をご覧ください。

リアカメラ画面を表示するには

<リアカメラ割込み>が[ON]のときにシフトギアをリバース(R)に入れると、リアビュー画面が表示されます。(32ページ)

- 画面に警告メッセージが表示されます。警告メッセージを非表示にするには、画面をタッチします。

シフトギアをリバース(R)に入れずに、手動でリアビュー画面を表示することもできます。

ポップアップショートカットメニューで、次のようにタッチします。



■ カメラ画面の表示中の操作

画像を調整するには
下記のエリアをタッチします。



映像コントロールメニューが表示されます。詳細は、11ページの「映像コントロールメニューの操作」をご覧ください。

- 映像コントロールメニューを修了するには、同じエリアをもう一度タッチします。

パーキングガイド線を表示するには

<パーキングガイド線表示>を[ON]に設定する(32ページ)か、または下記のエリアをタッチします。



- パーキングガイド線表示を閉じるには、同じエリアをもう一度タッチします。

カメラ画面を終了するには

モニターパネルでHOMEを押すか、または下記のエリアをタッチします。



情報

Bluetoothは、携帯電話、ポータブルPCなどのモバイル機器で使用する、近距離での無線通信技術です。

Bluetooth機器はケーブルなしで接続でき、双方向の通信ができます。

注意

- 運転中は、電話をかける、電話帳を使用などの複雑な操作を行わないでください。これらの操作を行う際には安全な場所に停車してください。
- 機器のBluetoothバージョンによっては、本機と接続できない場合があります。
- Bluetooth 機器によっては、本機で使用できない場合があります。
- 接続条件はご使用の環境によって異なります。
- 本機の電源をオフにすると、Bluetooth機器によっては接続が解除される場合があります。
- ご使用の携帯電話がPhone Book Access Profile (PBAP)に対応している場合、携帯電話を接続するとタッチパネルに下記の項目が表示できます。
 - 電話帳
 - 発信履歴、着信履歴、不在着信(合計10件まで)

準備

マイクを接続して取り付けます。詳細は、37ページをご覧ください。

接続

初めてBluetooth機器を本機に接続するときは、以下を行います。

- ① 本機と機器をペアリングして機器を登録します。
- ② 機器を本機に接続します。(22ページ)

■ 新しいBluetooth機器を登録する

ペアリングによってBluetooth機器は双方向の通信ができるようになります。

- ペアリングの方法は、機器のBluetoothのバージョンによって異なります。
 - Bluetooth 2.1以降の機器の場合:
機器と本機を、確認のみが必要なSSP(Secure Simple Pairing)を使用してペアリングできます。
 - Bluetooth 2.0の機器の場合:
ペアリングには、機器と本機の両方でPINコードの入力が必要です。
- 接続が一度確立されたら、本機をリセットしても本機に登録されています。合計で5台まで登録できます。
- Bluetooth電話機2台と、Bluetoothオーディオ機器1台を同時に接続できます。
ただしソースが「BT Audio」のときは、Bluetoothオーディオ機器を5台まで接続し、使用する機器を切り替えることができます。
- Bluetooth機能を使用するには、機器のBluetooth機能をオンにする必要があります。

自動でペアリングをする

<Auto Pairing>が「ON」(26ページ)に設定されている場合は、iPhoneなどのiOS機器は、USB経由で接続すると自動でペアリングされます。

SSPを使用してBluetooth機器をペアリングする(Bluetooth 2.1以降)

Bluetooth機器がBluetooth 2.1に対応していると、使用可能な機器からペアリングリクエストが送信されます。

- 1 ご使用のBluetooth機器から本機(「DDX4」/「DDX6」)をサーチします。
- 2 機器と本機の両方で接続要求を確定します。

機器側:



本機側:



リクエストを拒否するには: [キャンセル]をタッチします。

PINコードを使用してBluetooth機器をペアリングする (Bluetooth 2.0)

- 1 <PIN Code Set>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



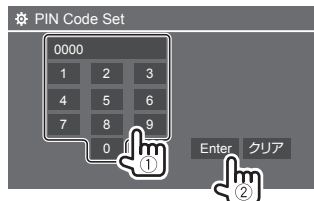
<設定>画面上で次のようにタッチします。
[システム] → <Bluetooth設定>: [Enter]

<Bluetooth設定>画面上で次のようにタッチします。

<PINコード>: [0000]

- 2 PINコードを変更します。

PINコードを変更しない場合は、手順3に進みます。



- 最後の入力を削除するには、[クリア]をタッチします。
- PINコードを削除するには、[クリア]を長押しします。

- 3 ご使用のBluetooth機器から本機 (「DDX4」/「DDX6」) をサーチします。

- 4 ご使用のBluetooth機器で本機 (「DDX4」/「DDX6」) を選択します。

- PINコードを要求された場合は「0000」(初期値)か、または手順2で入力したPINコードを入力します。
- ペアリングが完了すると、<Paired Device List>画面に機器が登録されます。

注意

- PINコードの初期設定は「0000」です。
- PINコードの最大桁数は15です。

登録したBluetooth機器を接続/接続解除する

- 1 <Paired Device List>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。

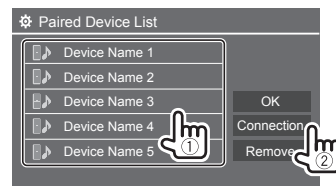


<設定>画面上で次のようにタッチします。
[システム] → <Bluetooth設定>: [Enter]

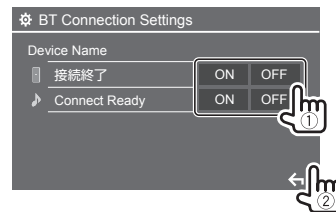
<Bluetooth設定>画面上で次のようにタッチします。

<Paired Device List>: [Enter]

- 2 接続したい機器を選択して①、[Connection]②を選択します。



- 3 接続する機器を選択して①、<Paired Device List>②に戻ります。



- [ON] (接続) または [OFF] (接続解除) を選択します。

- 📱 : 携帯電話

- 🎧 : オーディオ機器

- 状態は下記のように示されます。
「接続中」: 接続中。
「接続終了」: 接続されました。
「Connect Ready」: 接続できます。
「切断中」: 接続解除中。
「接続されていません」: 接続されていません。
- Bluetooth対応の携帯電話を接続している場合、機器から情報を取得すると、信号の強度とバッテリーの残量が表示されます。

登録した機器を削除するには: 手順1を行い、手順2で削除したい機器を選択し、[Remove]をタッチします。

- 確認メッセージが表示されます。[Yes]をタッチします。

Bluetooth対応の携帯電話を使用する

着信時...



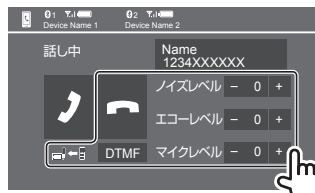
操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

[📞] 電話を受けます。

[📞] 電話を切ります。

- 着信情報を取得した場合に表示されます。
- リアカメラの映像が表示されているときは電話機での操作はできません。

通話中に...



操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

[📞] 通話を終了します。

[📞] ハンズフリーモードと電話機モードを切り替えます。

[DTMF] DTMF(Dual Tone Multi Frequency)機能を選択して、キーパッドで文字を送信します。

ノイズレベル [-]/[+] ノイズリダクションのレベルを調整します。
(-5~5)

エコーレベル [-]/[+] エコー音量のレベルを調整します。
(-5~5)

マイクレベル [-]/[+] マイク音量のレベルを調整します。
(-10~10)

音量ボタン▲/▼を押して、通話やイヤホンの音量を調整します。

電話をかける

- 電話画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



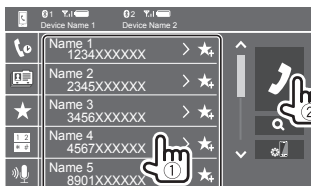
- 電話をかける方法を選択します。



- 1 通話履歴から*(不在着信/着信/発信)
- 2 電話帳から*
- 3 プリセットリストから(25ページ)
- 4 番号を直接入力
- 5 音声ダイヤル

* Phone book Access Profile(PBAP)に対応している携帯電話のみ

3 相手を選択して①、電話をかけます②。 手順2で①、②、または③の項目を選択した場合:



- 携帯電話のタイプによって、電話帳は正しく動作しないことがあります。

電話帳で頭文字サーチをするには

- ① [Q]をタッチします。
- ② 検索したい文字列の最初の文字をキーボードでタッチします。
- ③ 相手の電話番号をリストから選択します。

電話帳のサーチ結果について

携帯電話の「ソート順」、「表示順」またはその他の設定によって、本機の電話帳に違ったサーチ結果が表示されることがあります。

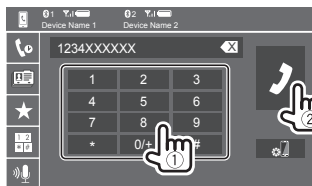
同じ連絡先他の電話番号を表示するには

1つの連絡先につき10件までの電話番号を表示できます。

- ① [>]をタッチします。
- ② 希望の電話番号をリストから選択します。

手順2で項目④を選択した場合:

電話番号を入力して①、電話をかけます②。



- 「+」を入力するには、[0/+]を長押しします。
- 最後の入力を削除するには、[X]をタッチします。

手順2で項目⑤を選択した場合:

電話をかけたい相手の名前を発声します。

- 接続した携帯電話に音声認識システムがある場合にのみ使用できます。
- 本機が相手を見つけないことができない場合は「マイクに向かって話してください」と表示されます。[スタート]をタッチして、名前をもう一度発声します。
- 音声ダイヤルを無効にするには、[キャンセル]をタッチします。

■ 接続している2つの機器を切り替える

2つの機器を接続しているとき、使用する機器を切り替えることができます。

電話画面で:



使用できる機器が強調表示されます。

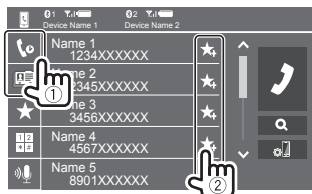
■ 電話番号をプリセットする

電話番号を5つまでプリセットできます。

- 1 電話機コントロール画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



- 2 通話履歴を選択または電話帳(①)を選択して、プリセットする相手先を選択します(②)。



- 3 登録するプリセット番号を選択します。

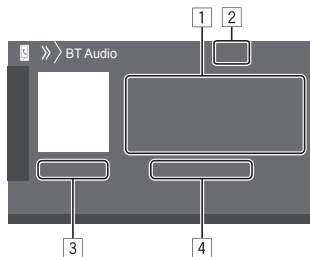
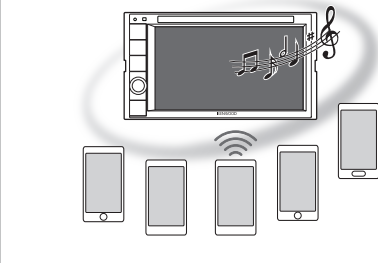


プリセット番号から相手先を削除するには: プリセットリストの横の、**[🗑️]**をタッチします。

Bluetoothオーディオプレイヤー

KENWOOD Music Mix

ソースが「BT Audio」のときは、Bluetoothオーディオ機器を同時に5台まで接続できます。これら5台のBluetoothオーディオ機器は、それぞれの機器で再生すれば、簡単に切り替えることができます。



- 1 タグデータ*(現在のトラックタイトル/アーティスト名/アルバムタイトル)
・表示するテキスト情報が多い場合は[<]を押すとテキストをスクロールします。
- 2 信号の強度とバッテリーの残量(機器から情報を取得したときにのみ表示されます。)
- 3 再生時間*/再生状態*
- 4 接続している機器名
・ボタンをタッチすると本機に接続されている別のBluetoothオーディオ機器に切り替わります。

* AVRCP 1.3に対応する機器でのみ使用できます。

■ 再生情報およびボタン操作

- ・再生情報に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面」をご覧ください。
- ・タッチパネルのボタン操作に関する詳細は、7ページの「ソースコントロール画面の共通の操作ボタン」をご覧ください。

その他のボタンの操作: 操作ボタンをタッチすると、次のように動作します。

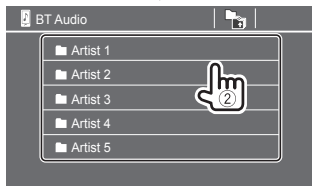
[🔧] <Bluetooth設定>画面を表示します。

■ オーディオファイルをメニューから選択する

- 1 オーディオメニューを表示します。
ソースコントロール画面上で次のようにタッチします。



- 2 カテゴリーを選択して(①)、項目を選択します(②)。



各階層で項目を選択して、再生したいファイルまで移動して選択します。

Bluetooth設定

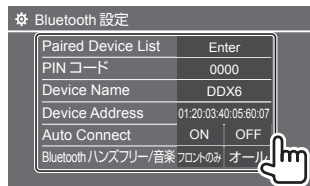
<Bluetooth設定>画面のBluetooth機器を使用してさまざまな設定を変更できます。

- 1 <Bluetooth設定>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



<設定>画面上で次のようにタッチします。
[システム] → <Bluetooth設定>: [Enter]

- 2 設定を行います。



<Paired Device List>

登録した機器が一覧表示されます。機器を接続、または登録した機器を削除できます。

<PINコード>

本機のPINコードを変更します。

<Device Name>

Bluetooth機器に表示される機器の名前—「DDX4」/「DDX6」を表示します。

<Device Address>

本機のデバイスアドレスを表示します。

<Auto Connect>

- **ON** (初期値): 本機の電源がオンになったときに、最後に接続されていた機器と自動で接続します。
- **OFF**: キャンセルします。

<Bluetooth/ハンズフリー/音楽>

Bluetooth対応の携帯電話とBluetoothオーディオプレイヤーで使用するスピーカーを選択します。

- **フロントのみ**: フロントスピーカーのみ。
- **オール** (初期値): すべてのスピーカー。

<自動通話>

- **ON**: 着信してから5秒後に、本機が自動で応答します。
- **OFF** (初期値): 本機は自動で応答しません。着信に手動で応答してください。

<Auto Pairing>

- **ON** (初期値): USB経由で接続したiOS機器 (iPhone など) と自動でペアリングを確立します。(iOSのバージョンによっては、自動ペアリングが作動しない機器があります。)
- **OFF**: キャンセルします。

<初期状態>

[Enter]を長押しすると、Bluetooth対応の携帯電話およびBluetoothオーディオプレイヤーのすべての設定をリセットします。

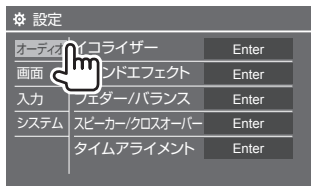
設定

オーディオ設定

<オーディオ>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



<設定>画面上で[オーディオ]をタッチします。



例: DDX6190BTのオーディオ設定画面

以下の場合には<オーディオ>画面を変更できません。

- AVソースの電源がオフのとき。
- Bluetooth対応の電話機を使用しているとき
(発信中または着信中、通話中、音声ダイヤル中)。

<イコライザー>

調整値は、ソースごとに音を再調整するまで保存されます。ソースがディスクの場合、調整値は下記のカテゴリーごとに保存されます。

- DVD/DVD-VR/VCD
- CD
- MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC/FLAC

本機がスタンバイ状態のときにイコライザーの調整はできません。

プリセットサウンドモードを選択する

<イコライザー>画面上でプリセットサウンドモードを選択します。

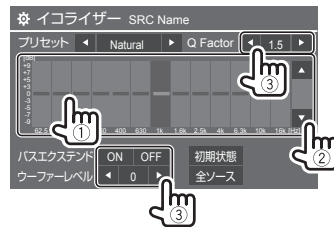
- **Natural** (初期値)/**Rock/Pops/Easy/Top40/Jazz/Powerful**/ユーザー



- 調整したイコライザーをすべての再生ソースに適用するには、[全ソース]をタッチしてから、[OK]をタッチして確定します。

お好みの調整値を保存する

- 1 プリセットサウンドモードを選択します。
- 2 バンド①を選択して、レベル②を調整し、サウンド③を調整します。



サウンドを次のように調整します。

< Q Factor >

周波数幅を調整します。

- 1.35/1.5 (初期値) / 2.0

<バスエクステンド>

バスを有効/無効にします。

- ON/OFF (初期値)

<ウーファーレベル>

サブウーファーのレベルを調整します。*

- -50~+10 (初期値:0)

- 調整値をクリアするには、[初期状態]をタッチします。

- 3 手順2を繰り返してその他のバンドのレベルを調整します。

* <スピーカー選択>画面でサブウーファーに<なし>が選択されている場合は調整できません。(28ページ)

設定

<サウンドエフェクト>

音響効果を調整します。

<ラウドネス>

音量を調整します。

- OFF(初期値)/Low/High

<バスブースト>

低音強調のレベルを選択します。

- OFF(初期値)/Level 1/Level 2/Level 3/Level 4/Level 5

<ドライブEQ>

帯域幅を上げてロードノイズの影響を軽減します。

- OFF(初期値)/ON

<スペースエンハンサー>*1

デジタルシグナルプロセッサ(DSP)システムを使用して、音場を仮想的に拡大します。拡大レベルを選択します。

- OFF(初期値)/Small/Medium/Large

<サブプリーム>*2

オーディオ圧縮で失われたサウンドを補完してリアリティーのあるサウンドを再現します。

- OFF/ON(初期値)

<リアライザー>

デジタルシグナルプロセッサ(DSP)システムを使用して、仮想的によりリアリティーのあるサウンドにします。サウンドレベルを選択します。

- OFF(初期値)/Level 1/Level 2/Level 3

<サウンドライザー>

サウンドの中心を低くまたは高くできます。高さを選択します。

- OFF(初期値)/Low/Middle/High

*1 ソースとして「Radio」が選択されているときは設定を変更できません。

*2 この機能は、ソースとして「DISC」/「USB」/「iPod」/「Android™」が選択されているときのみ使用できます。

<フェダー/バランス>

[▲]/[▼]/[◀]/[▶]をタッチして、または🎛マークをドラッグして調整します。

<フェダー>

フロントスピーカーとリアスピーカーの出力バランスを調整します。2スピーカーシステムを使用している場合はフェダーをセンターに設定します(0)。

- F15~R15(初期値:0)

<バランス>

左スピーカーと右スピーカーの出力バランスを調整します。

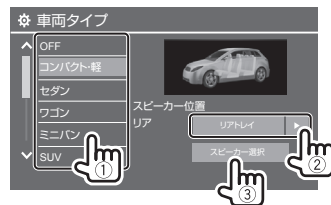
- L15~R15(初期値:0)

調節値をクリアするには、[センター]をタッチします。

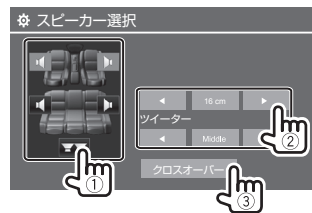
<スピーカー/クロスオーバー>

■ スピーカーおよびクロスオーバー周波数を設定する

- 1 車のタイプを選択して(①)、スピーカーの位置を選択し(②)、<スピーカー選択>画面を表示します(③)。



- 2 スピーカーのタイプを選択して(①)、選択したスピーカーのサイズを選択し(②)、<クロスオーバー>画面を表示します(③)。



- スピーカーが接続されていない場合は<なし>を選択します。
- フロントスピーカーを設定しているときに、<ツイーター>のスピーカーサイズも選択します。

設定

3 選択したスピーカーのクロスオーバー周波数を調整します。

- 調整できる項目は、選択したスピーカーのタイプ/スピーカーのサイズ/クロスオーバーの設定によって異なります。

<TWレベル左>/<TWレベル右>

ツイーター(左/右)の出力音量を調整します。

<TW周波数>

ツイーターのクロスオーバー周波数を調整します。

<レベル>

選択したスピーカーの出力音量を調整します。

<HPF周波数>

フロントまたはリアスピーカーのクロスオーバー周波数を調整します(ハイパスフィルター)。

<LPF周波数>

サブウーファーのクロスオーバー周波数を調整します(ローパスフィルター)。

<スロープ>

クロスオーバー周波数のスロープを調整します。

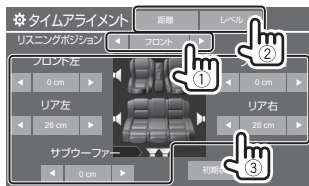
<位相>

スピーカーの位相を選択します。

<タイムアライメント>

スピーカー出力のディレイ時間を調整して、ご使用の車により適した環境を作成します。

リスニングポジションを選択し(①)、[距離]または[レベル]を選択して(②)、各スピーカーの設定を調整します(③)。



- ① <オール>、<フロント左>、<フロント右>、または<フロント>から選択します。
- ② 調整する項目を選択します。

[距離] タイムアライメントの値を調整します。

[レベル] 選択したスピーカーの出力音量を調整します。

- ③ 調整値を決定するには、右の「<タイムアライメント>の調整値を決定する」をご覧ください。

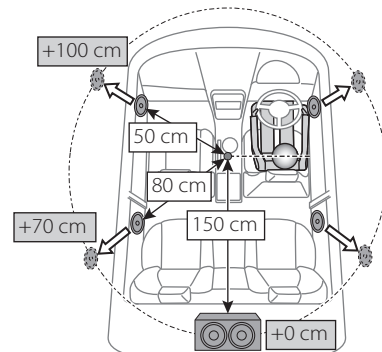
設定値を初期化するには[初期状態]をタッチします。

<タイムアライメント>の調整値を決定する

リスニングポジションの中心から各スピーカーの距離を指定すると、ディレイ時間が自動で算出されて設定されます。

- ① 基準点として、リスニングポジションの中心を決定します。
- ② 基準点から各スピーカーまでの距離を計測します。
- ③ 最も遠いスピーカーとその他のスピーカーとの距離の差を計算します。
- ④ 各スピーカー用に手順③で計算したDTA値を設定します。
- ⑤ スピーカーごとにレベルを調整します。

例:<フロント>がリスニングポジションとして選択された場合



設定

<ソースレベル>

各ソースの自動音量レベルを調整して保存します。ソースがディスクの場合、調整値は下記のカテゴリごとに保存されます。

- DVD/DVD-VR/VCD
- CD
- MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC/FLAC

音量レベルはソースを変更すると自動的に上下します。

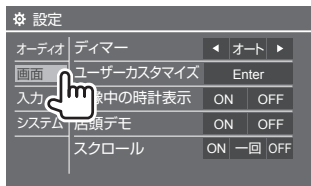
- -15~+6(初期値:00)

画面設定

<画面>設定画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



次に、<設定>画面上で[画面]をタッチします。



例: DDX6190BTの画面設定画面

<ディマー>

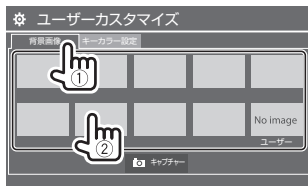
- **Auto** (初期値): ヘッドライトをオンにすると同画面とボタンのイルミネーションを減光します。
- ILLUMIリード接続が必要です。(37ページ)
- **ON**: ディマーを有効にします。
- **OFF**: ディマーを無効にします。

<ユーザーカスタマイズ>

画面のデザインを変更できます。映像や画像の再生中にイメージをキャプチャーして背景画像に使用できます。

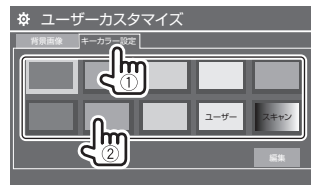
- 著作権保護のコンテンツやイメージをキャプチャーすることはできません。
- JPEGファイルを背景に使用する場合は、解像度が800 × 480 ピクセルになっていることを確認してください。
- キャプチャーした画像の色は実際の色と違って見える場合があります。

<背景画像>: 背景画像のデザインを変更します。



DDX6190BTのみ:

<キーカラー設定>: モニターパネルのボタンのイルミネーション色を変更します。



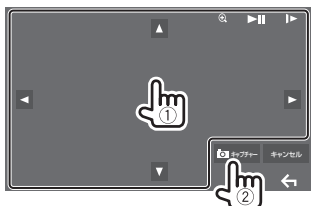
- イルミネーション色をお好みで調整することもできます。[編集]をタッチしてイルミネーション色調整画面を表示し、ディマー設定を選択して色を調整します。調整値は[ユーザー]に保存されます。
- [スキャン]を選択するとイルミネーション色が時間とともに変化します。

■ お好みの画像を背景用に登録する

- 1 映像や画像の再生中に<ユーザーカスタマイズ>画面を表示します。
<画面>画面で、次のようにタッチします。
<ユーザーカスタマイズ>: [Enter]
- 2 背景画像デザイン選択画面を表示して、
[📷 キャプチャー]をタッチします。

設定

3 画像を調整してから①、画像をキャプチャーします②。



例: DDX6190BTの画像調整画面

[▲] [▼] [◀] 拡大枠を移動します。

[▶]:

[⊕] 画像を拡大します。
<OFF>/<ズーム1>/<ズーム2>/
<ズーム3>

[▶▶]* 再生/一時停止します。

[▶▶]* 画像を1フレームずつ進めます。

確認メッセージが表示されます。新しくキャプチャーしたイメージを保存するには、[Yes]をタッチします。(既存のイメージは新しいイメージに置き換わります。)

- 前の画面に戻るには、[No]をタッチします。
- キャプチャーをキャンセルするには、[キャンセル]をタッチします。

* AV-IN入力端子に接続した外部機器の再生中は表示されません。

<映像中の時計表示>

- ON: 映像ソースを再生中に時計を表示します。
- OFF(初期値): キャンセルします。

<店頭デモ>

- ON: 店頭デモ画面を有効にします。
- OFF(初期値): 店頭デモ画面を無効にします。

<スクロール>

- ON(初期値): 情報を繰り返しスクロール表示します。
- 1回: 情報を1回だけスクロール表示します。
- OFF: キャンセルします。

[<]をタッチすると、この設定に関係なく文字をスクロールします。

<HOMEカスタマイズ>

ホーム画面に表示する項目を配置します。

置きかえる項目①を選択し、選択した位置に表示させたい項目②を選択します。

上記の手順を繰り返してその他のアイコンを配置します。

• 選択できるソースのみが表示されます。



例: DDX6190BTのHOMEカスタマイズ画面

<画像調整>

画面の明るさ、および色の濃さを調整します。
[DIM ON](ディマーオン)または[DIM OFF](ディマーオフ)を選択して、続いて下記の設定を変更します。

<明るさ>

明るさを調整します。

- -15~+15(初期値:ディマーオンの場合0、ディマーオフの場合+15)

<色の濃さ>

色の濃さを調整します。

- -10~+10(初期値: 0)

<Video Output>

外部モニターのカラーシステムを選択します。

- NTSC(初期値)/PAL

設定が変更されると「電源を消してください。」と表示されます。変更を有効にするには電源を入れ直してください。

<パネル角度調整>

(DDX6190BTのみ)

パネル角度を調整します。(5ページ)

<視野角調整>

画面が見やすくなるように視野角を調整します。

- 0°(初期値)/5°/10°/15°/20°

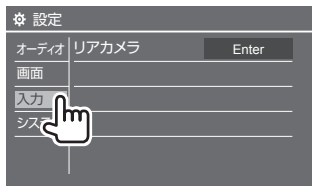
設定

入力設定

<入力>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



次に、<設定>画面上で[入力]をタッチします。



例: DDX6190BTの入力設定画面

<リアカメラ>

リアカメラの設定を行います。

<リアカメラ割込み>

- **ON**: シフトギアをリバース(R)に入れると、リアカメラからの画像を表示します。
 - 画面に警告メッセージが表示されます。警告メッセージを非表示にするには、画面をタッチします。
- **OFF** (初期値): カメラが接続されていない場合に選択します。

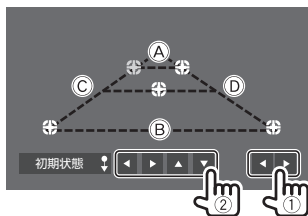
<パーキングガイド線表示>

- **ON** (初期値): パーキングガイド線を表示します。
- **OFF**: パーキングガイド線を非表示にします。

<パーキングガイド線設定>

車両のサイズや駐車スペースなどに応じてパーキングガイド線表示を調整します。
パーキングガイド線表示を調整するときは、車両が動き出さないように必ずパーキングブレーキを引いてください。

⚙️マークを選択して(①)、選択した⚙️マークの位置を調整します(②)。



ⒶとⒷが水平方向に平行に、ⒸとⒹが同じ長さになるようにします。

- **[初期状態 ↓]**を2秒以上タッチすると、すべてのマークが初期状態に設定されます。

システム設定

<システム>画面を表示します。
ホーム画面上で次のようにタッチします。



次に、<設定>画面上で[システム]をタッチします。



例: DDX6190BTのシステム設定画面

<時計>

時計を設定します。詳細は、6ページの「時計の設定」をご覧ください。

設定

<スマートフォン設定>

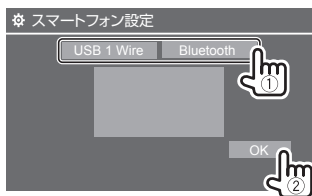
Android/iPod/iPhoneの接続方法を指定します。

- 1 デバイスのタイプを選択し(①)、[Change]をタッチします(②)。



- 2 接続方法を選択して(①)、選択([OK]または[Next])を確定します(②)。

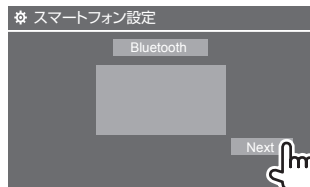
手順1で[iPod/iPhone]を選択した場合



[USB 1 Wire] 機器をUSB入力端子で接続するときに選択します(リアパネルからのケーブル)。

[Bluetooth] iPod/iPhoneをBluetoothで接続しているときに選択します。(手順3に進みます。)

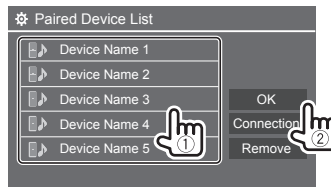
手順1で[Android/Other]を選択した場合



<Paired Device List>画面が表示されます。手順3に進みます。

- 3 [Bluetooth]を接続方法として選択した場合: デバイスを選択して(①)、[OK]を押して(②)接続します。

・デバイスがすでに接続されている場合は、手順①は飛ばしてください。



<Bluetooth設定>

接続やその他一般的な操作など、Bluetooth機器を使用するときの設定を行います。詳細は、26ページの「Bluetooth設定」をご覧ください。

<操作音>

- ・ON(初期値): キータッチトーンを有効にします。
- ・OFF: キータッチトーンを無効にします。

<セットアップメモリ>

変更した設定を保存、呼び出し、クリアします。

- ・保存した設定は本機をリセットしても保持されません。
- ・<セットアップメモリ>が[ロック解除](初期値)に設定されている場合のみ使用できます。

[Yes]をタッチして設定画面を表示し、以下から操作を選択します。

- ・呼び出し: 保存した設定を呼び出します。
- ・保存: 現在の設定を保存します。
- ・クリア: 現在保存している設定をクリアして、工場出荷時(初期)の設定に戻します。
- ・キャンセル: キャンセルします。

確認メッセージが表示されます。[Yes]をタッチします。

変更を防ぐために<セットアップメモリ>をロックすることもできます。[ロック]をタッチして設定をロックします。

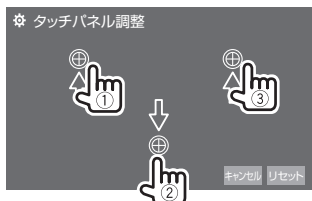
- ・<設定>メニューのいくつかの項目、例えば<スピーカー/クロスオーバー>は、[ロック]を選択していると調整できません。

設定

<タッチパネル調整>

画面上のボタンのタッチ位置を調整します。

指示に従い左上(①)、中央下、(②)、右上(③)の順にマークの中央にタッチします。



- タッチ位置をリセットするには[リセット]をタッチします。
- 現在の操作をキャンセルするには、[キャンセル]をタッチします。

<システム情報>

アップデートファイルが入っているUSB機器を接続してシステムをアップデートします。

- アップデートファイルを入手するには、次のURLにアクセスしてください。

<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>

アップデートファイルが入ったUSB機器を本機に接続します。



<アプリケーション Ver.>

システムアプリケーションをアップデートします。

<システム Ver.>

システムをアップデートします。

- <Update>の選択後に、電源をオフにしてからオン、またはエンジンスイッチをオフにしてからオンにすると、本機がリセットされます。

<DVD Ver.>

DVDシステムアプリケーションをアップデートします。

アップデートが始まりますが、しばらく時間がかかります。

アップデートが問題なく完了すると、「アップデートが完了しました。」と表示されます。本機をリセットします。

- アップデート中にUSB機器を抜かないでください。
- アップデートが失敗した場合は、電源を入れ直して再度アップデートしてください。

<オープンソースライセンス>

オープンソースライセンスを示します。

取り付け / 接続

⚠ 警告

- ・イグニッションコード(赤)とバッテリーコード(黄)を車のシャーシ(アース)に接触させないでください。回路がショートして火災の原因になる場合があります。
- ・イグニッションコード(赤)とバッテリーコード(黄)からヒューズを切り離さないでください。電源は必ずケーブルにヒューズを通して接続してください。
- ・電源は必ずヒューズを通してイグニッションコード(赤)とバッテリーコード(黄)に接続してください。

⚠ 注意

- ・本機は車両のコンソールに取り付けてください。
- ・本機の使用中および使用直後は、本機の金属部品に触れないでください。ヒートシンクやエンクロージャなどの金属部品は熱くなっています。
- ・天井の低い場所に駐車する場合は、本機の電源をオフにして、アンテナを収納してください。オートアンテナ搭載車に本機を取り付けているときは、アンテナコントロールケーブル(ANT. CONT)が付いた状態で本機の電源を入れるとアンテナが自動で伸びます。(37ページ)

本機を取り付ける前に

■ 接続および取り付けに関する注意事項

- ・本製品の取り付け・配線には技術と経験が必要です。安全のため取り付け・配線は専門技術者に依頼してください。
- ・取り付け角度が30°以内になるように本機を取り付けてください。
- ・必ず本機をマイナス12 V DC電源にアースしてください。
- ・直射日光に当たる場所や、極端に暑いまたは湿度の高い場所に本機を設置しないでください。ホコリが極端に多い場所や、水に浸かる可能性がある場所も避けてください。
- ・お手持ちのネジを使用しないでください。付属のネジのみをご使用ください。誤ったネジを使用すると、本機を破損させる場合があります。
- ・本機を設置したら、車のブレーキランプ、ウインカー、ワイパーなどが正しく動作するか確認してください。
- ・本機を車両に設置するときパネルの表面を強く押さないでください。強く押すと、キズ、破損、故障を引き起こす場合があります。
- ・電源がオンにならない場合(「接続エラー」、 「電圧エラー」と表示されます)、スピーカーの配線がショートまたは車両のシャーシに接触して、保護機能がはたらいている可能性があります。この場合、スピーカーの配線を確認する必要があります。
- ・熱を発する金属の部品から、すべてのケーブルを遠ざけてください。

- ・ご使用の車のエンジンキーにACCポジションがない場合、エンジンキーでオン/オフできる電源にイグニッションコードを接続してください。イグニッションコードをバッテリーコードなど、常に電圧がかかっている電源へ接続すると、バッテリーが消耗する場合があります。
- ・**DDX6190BTのみ:**
コンソールにふたがある場合、開閉時にモニターパネルがふたに当たらないように設置してください。
- ・ヒューズが飛んだ場合は、ケーブルが接触してショートしていないか最初に確認して、次いで古いヒューズを同じグレードの新しいものと取り替えます。
- ・接続していないケーブルはビニールテープまたは他の類似の材料で絶縁してください。ショートするのを防ぐために、接続していないケーブルまたは端子の端部のキャップを取り外したり、コードを出したりしないでください。
- ・ケーブルの保護とショート防止のために、ケーブルをケーブルクランプで固定して、金属部品に接触するケーブルはビニールテープを巻いてください。
- ・スピーカーのケーブルは対応する端子に正しく接続してください。⊕ケーブルを共有したり、車内の金属部品にアースしたりした場合、本機が破損する、または動作しない場合があります。
- ・システムに2つのスピーカーのみ接続している場合、両方のコネクタをフロント出力端子またはリア出力端子のどちらかに接続してください(フロントとリアの両方に接続しないでください)。例えば、左スピーカーの⊕コネクタをフロント出力端子に接続した場合は、⊖コネクタをリア出力端子に接続しないでください。

■ 取り付け用のパーツリスト

注意:このパーツリストには、パッケージのすべての内容物を記載しているわけではありません。

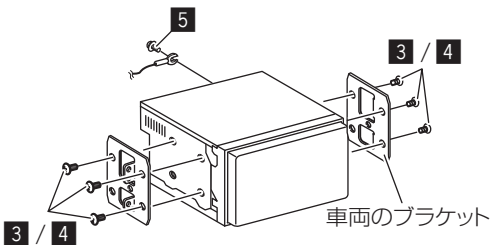
- 1 ワイヤリングハーネス x 1
- 2 延長ケーブル(2m) x 1
- 3 サラネジ(M5 x 8 mm) x 6
- 4 トラスネジ(M5 x 8 mm) x 6
- 5 セムスネジ(M4 x 8 mm) x 1
- 6 マイク(3m) x 1

■ 取り付け手順

- 1 ショートを防ぐために、エンジンキーを抜いて⊖バッテリーの接続を外します。
- 2 ユニットごとに正しい入力および出力の配線を行います。
- 3 ワイヤリングハーネスのスピーカーケーブルに接続します。
- 4 ワイヤリングハーネスのケーブルをアース、バッテリー、エンジンキーの順序で接続します。
- 5 ワイヤリングハーネスを本機に接続します。
- 6 本機を車に設置します。
本機を適切な場所にしっかりと設置します。本機が不安定な場合は、不具合(音声が飛ぶなど)が起こる可能性があります。
- 7 ⊖バッテリーを再接続します。
- 8 モニターパネルでリセットボタンを押します。(4ページ)
- 9 <初期設定>で設定を行います。(5ページ)

■ 本機の取り付け

■ 車両から取り外した取り付けブラケットで本機を取り付ける

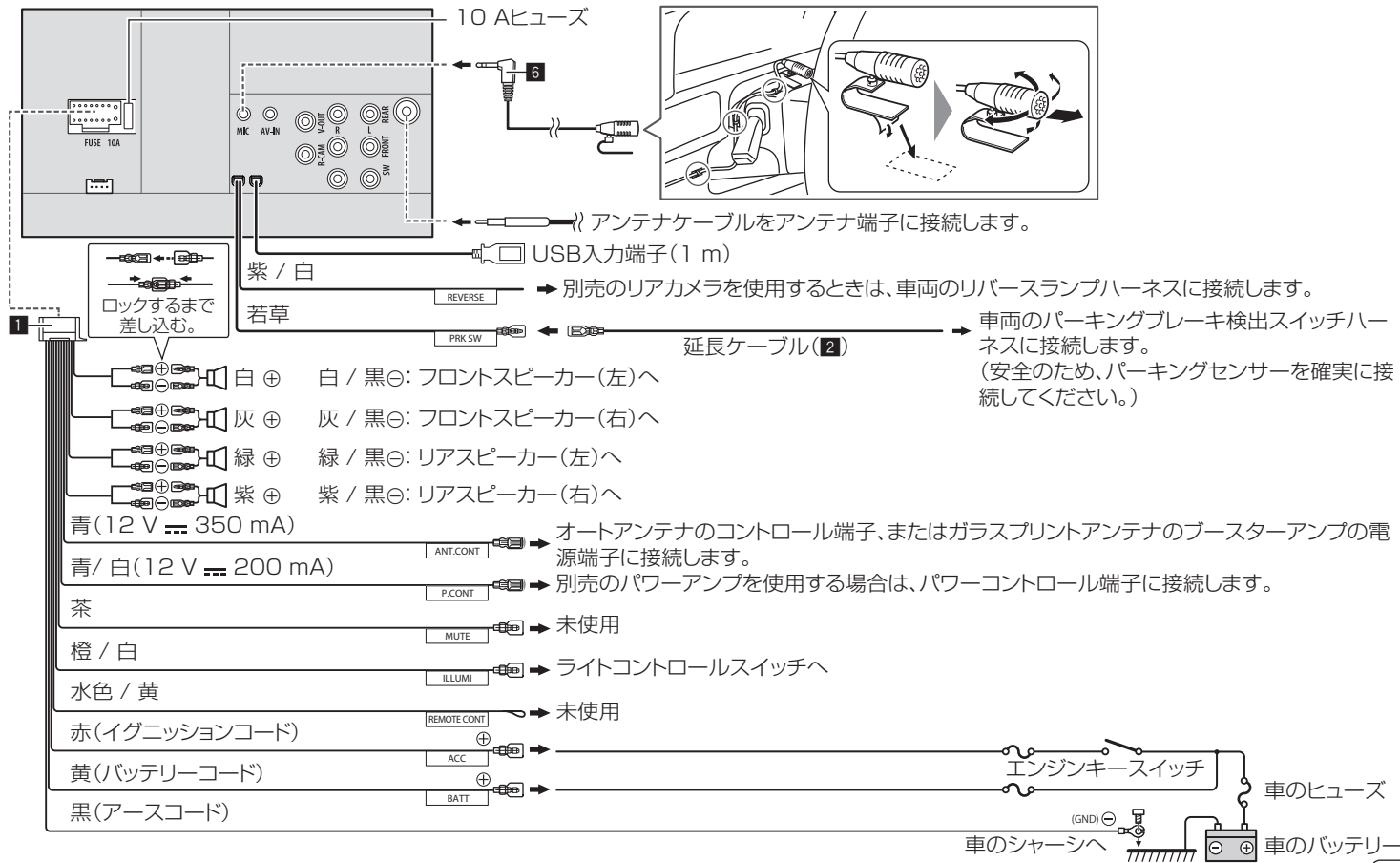


注意:取り付けブラケットに適切なネジ(付属品)を選択します。

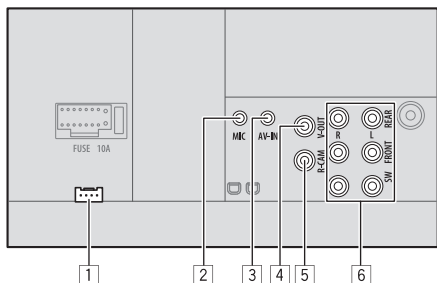
- ・アースコードが配線キット(別売品)に付属している場合、セムスネジ(5)を使用してリアパネルに固定します。

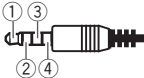
取り付け / 接続

ケーブル接続



外部機器を接続する



- 1 使用しません
- 2 マイク入力端子(MIC) (37ページ)
- 3 オーディオ映像入力(AV-IN)*1
次のタイプの4極ミニプラグを接続します。

 - ① 左音声
 - ② 右音声
 - ③ アース
 - ④ コンポジットビデオ
- 4 映像出力(V-OUT)
- 5 リアカメラ入力(R-CAM)
- 6 出力端子*2
 - ・左出力(白)
 - ・右出力(赤)
 REAR: リアスピーカークリアウト
 FRONT: フロントスピーカークリアウト
 SW: サブウーファークリアウト

*1 外部機器の接続にはオーディオケーブルと映像ケーブルを使用します。

*2 外部アンプを接続するときは、アースコードを車両のシャーシに接続します。接続しないと本機が破損する場合があります。

お手入れ

本機のお手入れ

- ・溶剤(シンナーやベンジンなど)、洗剤、殺虫剤を使用しないでください。モニターまたは本機を破損する場合があります。
- ・パネルを柔らかく乾いた布で軽くふきます。

ディスクの取り扱い

- ・ディスクの記録面に触れないでください。
- ・ディスクにテープを貼ったり、テープが貼られたディスクを使用したりしないでください。
- ・ディスク用のアクセサリは使用しないでください。
- ・ディスクが汚れたら、柔らかい布で中心から外側に向かってふいてください。
- ・ディスクは、乾いたシリコンクロスなどの柔らかい布で拭いてください。溶剤を使用しないでください。
- ・ディスクを本機から取り出すときは水平方向に引き出してください。
- ・ディスクの内周や外周にざらつきがある場合は、ディスクを入れる前に取り除いてください。

詳細情報

■ ファイルの再生

オーディオファイル

- ・本機は以下のフォーマットと拡張子を持つファイルを再生することができます。
 - ディスク: MP3(.mp3)、WMA(.wma)、WAV(.wav)、AAC(.m4a)
 - USBマストストレージクラスデバイス: MP3(.mp3)、WMA(.wma)、WAV(.wav)、AAC(.aac)、m4a)、FLAC(.flac)
- ・本機は下記の条件を満たすファイルを再生できません。
 - ビットレート:
 - MP3: 8 kbps ~ 320 kbps
 - WMA: ディスク: 5 kbps ~ 320 kbps
 - USB: 32 kbps ~ 192 kbps
 - AAC: 16 kbps ~ 320 kbps
 - サンプリング周波数:
 - MP3: 16 kHz ~ 48 kHz
 - WMA: 8 kHz ~ 48 kHz
 - WAV: 44.1 kHz
 - AAC: 32 kHz ~ 48 kHz
 - FLAC: 8 kHz ~ 96 kHz
 - VBR(variable bit rate)で記録されたファイルは、経過時間の表示が異なります。

- 本機では以下を表示できます。

- タグ:
MP3:ID3タグ(バージョン 1.0/1.1/2.2/
2.3/2.4)
WMAタグ
WAVタグ
AACタグ
FLACタグ

- ジャケット画像:

画像サイズ: 解像度32 × 32 ~ 1232 × 672

データサイズ: 500 KB未満
ファイルタイプ: JPEG

- 本機は下記のファイルを再生できません。

- MP3iおよびMP3 PRO形式でエンコードされたMP3ファイル
- Layer 1/2でエンコードされたMP3ファイル
- ロスレス、プロフェッショナル、voice形式でエンコードされたWMAファイル
- Windows Media[®] Audioに基づいていないWMAファイル
- DRMでコピー保護されたWMA/AACファイル
- FairPlayでコピー保護されたAACファイル (iPod/iPhoneに保存されたものを除く)
- AIFF、ATRAC3などのデータがあるファイル

映像ファイル

- 本機は以下のフォーマットと拡張子を持つファイルを再生することができます。
 - MPEG1/MPEG2(.mpg、.mpeg)
- 次のストリームに適合すること。
 - MPEG1/MPEG2:
 - オーディオ: MPEG1 Audio Layer-2またはDolby Audio
 - 映像: MPEGシステム / プログラムストリーム

- その他の再生条件:

- 映像ファイルのサイズ: 2 GB未満
- MPEG1/MPEG2: ファイル形式: ファイル形式はMP@ML(Main Profile at Main Level)/SP@ML(Simple Profile at Main Level)/MP@LL(Main Profile at Low Level)である必要があります。

画像ファイル

- 本機は以下のフォーマットと拡張子を持つファイルを再生することができます。

- JPEG (.jpg、.jpeg)

- その他の再生条件:

- 解像度: 32 × 32~8192 × 7680(解像度によってはファイルを表示するのに時間がかかる場合があります。)

- ベースラインJPEGファイル

- 本機は下記のファイルを再生できません。

- プログレッシブJPEGファイル
- ロスレスJPEGファイル

■ ディスクの再生

再生可能なディスクタイプ

- CD-DA: オーディオCD、CDテキスト
- DVDビデオ: リージョンコード: 2
- DVD-VR
- デュアルディスク: DVDサイド
- VCD: Video CD(PBC対応)
- 記録可能 / 書き換え可能DVD(DVD-R/-RW、+R/+RW)
 - DVDビデオ: UDF bridge
 - ISO 9660 レベル1、レベル2、Romeo、Joliet
 - その他の再生形式:
マルチボーダー形式で記録されたDVD-R(2層ディスクを除く)
 - ファイナライズ処理を行った+R/+RW(映像形式のみ)
- 記録可能 / 書き換え可能CD(CD-R/-RW)
 - ISO 9660 レベル1、レベル2、Romeo、Joliet

- その他の情報:

- DVDビデオの再生中は、DTSサウンドは本機では再生・出力できません。
- 1枚の記録可能 / 書き換え可能ディスクにつき、本機は合計で5000ファイルおよび250フォルダを認識できます(1フォルダごとに最大999ファイル)。
- ファイナライズ処理を行った記録可能 / 書き換え可能ディスクのみを使用してください。
- 本機はマルチセッションの記録可能 / 書き換え可能ディスクを再生できます。ただしクローズされていないセッションは再生中にスキップされます。

再生できないディスクタイプおよび形式

- DVD オーディオ/DVD-ROM ディスク
- SVCD(スーパービデオCD)、CD-ROM、CD-I(CD-I Ready)、DTS-CD
- DVD-R/RWまたは+R/+RWに記録されたMPEG4/DivX/AAC(.aac)/FLAC/MKV/DVD+VR/DVD-RAM
- CD-R/RWに記録されたMPEG4/DivX/AAC(.aac)/FLAC/MKV
- DVD-RW2層ディスク
- +RW2層ディスク
- 「デュアルディスク」の非DVDサイドは「コンパクトディスク・デジタル・オーディオ」規格に準拠していません。
- 円形でないディスク
- 記録面にカラーリングが施されている、または汚れているディスク
- ファイナライズ処理を行っていない記録可能 / 書き換え可能ディスク
- 8 cmディスク。アダプタを使用してこれらのディスクを挿入すると不具合が起こる場合があります。
- 記録可能 / 書き換え可能ディスクまたはファイルがその特性や記録状況によって再生できない場合があります。

言語コード(DVD言語選択用)

AA	アフガル語	GD	スコットランドゲール語
AB	アフバシヤ語	GL	ガルシア語
AF	アフリカンス語	GN	グアラニ語
AM	アムハラ語	GU	グジャラート語
AR	アラビア語	HA	ハウサ語
AS	アッサム語	HI	ヒンディー語
AY	アイマラ語	HR	クロアチア語
AZ	アゼルバイジャン語	HU	ハンガリー語
BA	バシキール語	HY	アルメニア語
BE	ベラルーシ語	IA	国際語
BG	ブルガリア語	IE	インターリング語
BH	バーレーン語	IK	イヌピアック語
BI	ビスラマ語	IN	インドネシア語
BN	ベンガル語、バングラ語	IS	アイスランド語
BO	チベット語	IW	ヘブライ語
BR	ブルトン語	JA	日本語
CA	カタロニア語	JL	イディッシュ語
CO	コルシカ語	JW	ジャワ語
CS	チェコ語	KA	グルジア語
CY	ウェールズ語	KK	カザフ語
DZ	ブータン語	KL	グリーンランド語
EL	ギリシャ語	KM	カンボジア語
EO	エスペラント語	KN	カンナダ語
ET	エストニア語	KO	韓国語
EU	バスク語	KS	カシミール語
FA	ペルシャ語	KU	クルド語
FI	フィンランド語	KY	キルギス語
FJ	フィジー語	LA	ラテン語
FO	フェロー語	LN	リンガラ語
FY	フリジア語	LO	ラオス語
GA	アイルランド語	LT	リトアニア語

LV	ラトビア語、レット語	SM	サモア語
MG	マダガスカル語	SN	ショナ語
MI	マオリ語	SO	ソマリ語
MK	マケドニア語	SQ	アルバニア語
ML	マラヤーラム語	SR	セルビア語
MN	モンゴル語	SS	シスワティ語
MO	モルダビア語	ST	セストゥ語
MR	マラータ語	SU	スندا語
MS	マレー語	SW	スワヒリ語
MT	マルタ語	TA	タミール語
MY	ミャンマー語	TE	テルグ語
NA	ナウル語	TG	タジク語
NE	ネパール語	TH	タイ語
NO	ノルウェー語	TI	ティグリニヤ語
OC	プロバンス語	TK	トゥルクメン語
OM	(アフアン)オロモ語	TL	タガログ語
OR	オリヤー語	TN	セツワナ語
PA	パンジャブ語	TO	トンガ語
PL	ポーランド語	TR	トルコ語
PS	パシュトー語	TS	ツォンガ語
QU	ケチュア語	TT	タタール語
RM	レトロマンズ語	TW	トウィ語
RN	キルンディ語	UK	ウクライナ語
RO	ルーマニア語	UR	ウルドゥー語
RW	キニヤルワンダ語	UZ	ウズベク語
SA	サンスクリット語	VI	ベトナム語
SD	シンド語	VO	ボラビュク語
SG	サンゴ語	WO	ウォロフ語
SH	セルビアクロアチア語	XH	コーサ語
SI	シンハラ語	YO	ヨルバ語
SK	スロバキア語	ZU	ズール語
SL	スロベニア語		

■ USBの再生

重要

データの消失を防ぐためにすべての重要なファイルを必ずバックアップしてください。
本機使用中のデバイス内のデータ消失に関して当社は一切その責任を負いません。

USB機器上で再生できるファイル

- 本機はUSBマストストレージクラスデバイスに保存された下記のタイプのファイルを再生できます。
 - JPEG/MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC(.aac/.m4a)/FLAC
- 本機は以下のファイル/フォルダを認識することができます。
 - 総数5000ファイル
 - 映像ファイルの場合、250フォルダ、フォルダ内最大999ファイル
 - 画像ファイルの場合、250フォルダ、フォルダ内最大999ファイル
 - オーディオファイルの場合、999フォルダ、フォルダ内最大999ファイル
- 最大文字数(1バイト文字の場合):
 - フォルダ名:50文字
 - ファイル名:50文字

USB機器使用に関する注意

- 運転の安全に影響を及ぼす可能性がある場合はUSB機器の使用を止めてください。
- USBケーブルで接続する場合はUSB 2.0ケーブルを使用してください。
- USB機器を接続する際の静電気ショックにより、デバイスの再生に異常が発生する場合があります。この場合は、USB機器を取り外して本機とUSB機器をリセットします。
- 画面に「読み込み中」と表示されているときにUSB機器を何度も抜き差ししないでください。
- USB機器で操作および電源の供給が意図した通り動作しない場合があります。
- USB機器の変形や破損を防ぐために、車内に放置したり直射日光や高温に当てたりしないでください。

再生できないUSB機器

- USB延長ケーブルを使用すると、USB機器上のファイルを正しく再生できない場合があります。
- データセキュリティ機能などの特別な機能を備えたUSB機器は、本機では使用できません。
- 2つ以上のパーティションがあるUSB機器を使用しないでください。
- USB機器および接続ポートの形状によって、USB機器が正しく接続できない、または接続がゆるくなる場合があります。
- USBカードリーダーに挿入されたメモ리카ードを本機が認識しない場合があります。

■ iPod/iPhone

重要

データの消失を防ぐためにすべての重要なファイルを必ずバックアップしてください。
本機使用中のデバイス内のデータ消失に関して当社は一切その責任を負いません。

接続できるiPod/iPhone

- USB端子で接続:
Made for
 - iPod nano (7th Generation)
 - iPod touch (5thおよび6th Generation)
 - iPhone 4S、5、5C、5S、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X
- Bluetooth で接続:
Made for
 - iPod touch (5thおよび6th Generation)
 - iPhone 4S、5、5C、5S、6、6 Plus、6S、6S Plus、SE、7、7 Plus、8、8 Plus、X

iPod/iPhoneの使用に関する注意

- iPod/iPhoneを操作するときに、操作が正確にまたは意図した通りに実行できない場合があります。この場合は下記URLのKENWOODのWebサイトをご覧ください。
<<http://www.kenwood.com/jp/car/>>
- 本機の電源をオンにすると、本機を通してiPod/iPhoneは充電されます。
- テキスト情報が正確に表示されない場合があります。
- iPod/iPhoneのモデルによって操作中に性能が正常ではない、または動作が不安定な場合があります。この場合はiPod/iPhoneを取り外して状態を確認してください。
動作が改善しない場合は、iPod/iPhoneをリセットします。

故障かな?と思ったら

トラブルと思われることでも、故障であるとは限りません。サービスセンターに連絡する前に下記の点を確認してください。

- 外部機器の操作に関しては、接続に使用するアダプタに付属する説明書もご覧ください(また、外部機器に付属する説明書もご覧ください)。

一般

スピーカーから音が出ない。
→ 音量を適切なレベルに調整します。
→ ケーブルおよび接続を確認します。

画面に画像が表示されない。
→ 画面をオンにします。(4ページ)

本機がまったく動作しない。
→ 本機をリセットします。(4ページ)

「映像信号がありません。」/「[No Video Signal]」と表示される。

- AV-IN入力端子に接続した外部機器を再生します。
- ケーブルおよび接続を確認します。
- 信号入力が弱すぎます。

「接続エラー」/「電圧エラー」と表示される。
→ スピーカーのケーブルがショートしているか、または車のシャーシに接触しています。スピーカーのケーブルを正しく配線または絶縁して、本機をリセットします。

「パーキングオフ」と表示される。
→ パーキングブレーキが引かれていないと再生画像は表示されません。

故障かな?と思ったら

ディスク

記録可能 / 書き換え可能ディスクを再生できない。

- ファイナライズ処理を行ったディスクを挿入します。
- 記録に使用した機器でディスクにファイナライズ処理を行います。

記録可能 / 書き換え可能ディスクのトラックをスキップできない。

- ファイナライズ処理を行ったディスクを挿入します。
- 記録に使用した機器でディスクにファイナライズ処理を行います。

再生が始まらない。

- ファイル形式が本機に対応していない。

外部モニターに画像が表示されない。

- 映像ケーブルを正しく接続します。
- 外部モニターの正しい入力を選択します。

MPEG1/MPEG2/MP3/WMA/WAV/AAC

ディスクが再生できない。

- 適切なディスクに対応しているアプリケーションでトラックを記録します。(39ページ)
- ファイル名に適切な拡張子を追加します。

記録可能 / 書き換え可能ディスクのトラックが意図した通りに再生できない。

- 再生の順序は別のプレーヤーを使用した場合と異なる場合があります。

「リージョンコードエラー」と表示される。

- 不正なリージョンコードのDVDビデオディスクを挿入しました。正しいリージョンコードのディスクを挿入します。

USB

「読み込み中」が画面から消えない。

- 電源を入れ直します。

トラックの再生中に音声が中断することがある。

- トラックがUSB機器に正しくコピーされていない。トラックをもう一度コピーして、再生してください。

トラックが意図した通りに再生されない。

- 再生の順序は別のプレーヤーを使用した場合と異なる場合があります。

USB機器に接続して別のソースを聴いているときや、USB機器に接続して「USBデバイスエラー」が表示された場合に、ソースが「USB」に切り替わらない。

- USBポートに設計上の限度を上回る電源が引かれています。
- 電源をオフにしてUSB機器のプラグを外します。次に、電源をオンにしてUSB機器をもう一度取り付けます。
- 問題が解決しない場合は、他のUSB機器に交換する前に、電源をオフにしてオンに(または本機をリセット)します。

Android

再生中に音声が聞こえない。

- Android機器を再接続します。
- Android機器でメディアプレーヤーのアプリケーションを起動して再生します。

Android機器からのみ音声が出力される。

- 他のメディアプレーヤーのアプリケーションを使用します。
- Android機器を再起動します。
- 上記の方法で問題が解決しない場合は、接続しているAndroid機器は本機に音声信号を送ることができません。
- USB接続が機能しない場合は、Android機器をBluetooth経由で接続します。
- USB接続が機能しない場合は、Android機器をBluetoothまたはリアパネルのAV-IN入力端子経由で接続します。

「デバイスがありません。」または「読み込み中」が点滅し続ける。

- Android機器を再接続します。
- USB接続が機能しない場合は、Android機器をBluetoothまたはリアパネルのAV-IN入力端子経由で接続します。

故障かな?と思ったら

iPod/iPhone

- スピーカーから音が出ない。
- iPod/iPhoneを取り外してもう一度接続します。
- 他のソースを選択して、もう一度「iPod」を選択します。

iPod/iPhoneがオンにならない、または動作しない。

- 接続を確認します。
- ファームウェアのバージョンをアップデートします。
- バッテリーを充電します。
- iPod/iPhoneをリセットします。

音声が歪む。

- 本機またはiPod/iPhoneのイコライザーを無効にします。

ノイズが多く発生する。

- iPod/iPhoneの「VoiceOver」をオフにします(チェックを外します)。詳細については、次のURLをご覧ください。<<http://www.apple.com>>

アートワークを含んだトラックの再生中に操作ができない。

- アートワークのロード後に本機を操作します。

「認証エラー」と表示される。

- 接続したiPod/iPhoneが本機に対応しているか確認します。(41ページ)

ラジオ

AME(オートメモリー)自動プリセットが動作しない。

- 放送局を手動で登録します。(17ページ)

ラジオを聞いているときにノイズが発生する。

- アンテナをしっかり接続します。

AV-IN

画面に画像が表示されない。

- 映像機器の電源が入っていない場合は、電源を入れてください。
- 映像機器を正しく接続します。

Spotify

アプリケーションが機能しない。

- ご使用のiPod touch/iPhone/Androidのアプリケーションが最新バージョンではありません。アプリケーションを更新してください。

Bluetooth

通話の音質が悪い。

- 本機とBluetooth対応の携帯電話の距離を近づけます。
- 信号をより良く受信できる場所に車を移動します。

Bluetoothオーディオプレイヤーを使用中に音声が中断またはスキップする。

- 本機とBluetoothオーディオプレイヤーの距離を近づけます。Bluetooth対応の電話機用に接続している機器の接続を解除します。
- 本機の電源を入れ直します。(音声それでも戻らないときは)プレイヤーをもう一度接続します。

接続したオーディオプレイヤーをコントロールできない。

- 接続したオーディオプレイヤーがAVRCP(Audio/Video Remote Control Profile)に対応しているか確認します。

Bluetooth機器が本機を検出しない。

- Bluetooth機器からもう一度サーチします。

本機がBluetooth機器とペアリングしない。

- Bluetooth 2.1対応の機器:
PINコードを使用して機器を登録します。(22ページ)
- Bluetooth 2.0対応の機器:
本機と対象機器の両方で同じPINコードを入力します。デバイスのPINコードが説明書に示されていない場合は「0000」または「1234」を試します。
- Bluetooth機器の電源を入れ直します。

エコーまたはノイズが発生する。

- マイクユニットの位置を調整します。
- エコーレベルまたはノイズレベルを調整します。(23ページ)

本機に電話帳を保存しようとしても本機が応答しない。

- 同じものを以前に本機に保存した可能性がありえます。

「Connection Error」と表示される。

- 機器は登録されましたが、接続に失敗しました。登録されている機器を接続します。(22ページ)

故障かな?と思ったら

「しばらくお待ちください。」と表示される。

→ 本機がBluetooth機能を使用する準備中です。メッセージが消えない場合は、本機の電源を入れ直してもう一度デバイスを接続します(または本機をリセットします)。

「No Voice Device」と表示される。

→ 接続した携帯電話に音声認識システムがありません。

「データがありません」と表示される。

→ 接続したBluetooth電話機に電話帳が含まれていません。

「初期化エラー」と表示される。

→ Bluetoothモジュールの初期化に失敗しました。もう一度操作します。

「ダイヤルエラー」と表示される。

→ ダイヤルに失敗しました。もう一度操作します。

「ハングアップエラー」と表示される。

→ 通話はまだ終了していません。停車して、接続した携帯電話で通話を終了します。

「ピックアップエラー」と表示される。

→ 本機は着信に失敗しました。

本機とBluetooth機器の接続が安定していない。


→ 使用していない登録済みのBluetooth機器を登録から削除してください。(22ページ)

仕様

■ モニター部

画面サイズ (幅 × 高さ)	DDX6190BT: 7.0V型ワイド 156.6 mm × 81.6 mm DDX4190BT: 6.2V型ワイド 137.52 mm × 77.232 mm
表示方式	透過TN型
駆動方式	TFTアクティブマトリクス
画素数	1 152 000 (800H × 480V × RGB)
有効画素数	99.99%
画素配列	RGBストライプ配列
使用光源 (照明方式)	LED

■ USB I/F部

USB規格	USB 2.0 Full Speed/ High Speed
USBクラス	Mass storage class
ファイルシステム	FAT 16/32
最大供給電流	DC 5 V  1.5 A
D/Aコンバータ	24 bit
オーディオフォーマット	MP3/WMA/AAC(.aac/ .m4a)/WAV/FLAC
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2/JPEG

■ DVDプレーヤー部

D/Aコンバータ	24 bit
オーディオフォーマット	リニアPCM/Dolby Digital/MP3/WMA/ WAV/AAC(.m4a)
ビデオフォーマット	MPEG1/MPEG2/JPEG
ワウ& フラッター	測定限界以下
周波数特性	96kHzサンプリング時: 20 Hz ~ 22 000 Hz 48 kHzサンプリング時: 20 Hz ~ 22 000 Hz 44.1 kHzサンプリング時: 20 Hz ~ 20 000 Hz
高周波歪率 (1 kHz)	0.010%
S/N比	90 dB
ダイナミックレンジ	90 dB
ディスクフォーマット	DVD-Video/DVD-VR/ VIDEO-CD/CD-DA/ CPRM
サンプリング 周波数	44.1 kHz/48 kHz/ 96 kHz
量子化ビット数	16/20/24ビット直線

仕様

Bluetooth部

Bluetoothバージョン	Bluetooth V3.0
動作周波数	2.402 GHz ~ 2.480 GHz
RF出力 (E.I.R.P.)	+4 dBm(最大)、 パワークラス2
最大通信距離	見通し距離約10 m
対応コーデック	SBC/AAC
対応プロファイル	HFP(Hands Free Profile) 1.6 A2DP(Advanced Audio Distribution Profile) 1.3 AVRCP(Audio/Video Remote Control Profile) 1.5 GAP(Generic Access Profile) PBAP(Phonebook Access Profile) 1.2 SDP(Service Discovery Profile) SPP(Serial Port Profile) 1.2

DSP部

グラフィックイコライザー	バンド: 13バンド 周波数(Hz)(バンド1-13): 62.5/100/160/250/ 400/630/1k/1.6k/2.5k/ 4k/6.3k/10k/16k ゲイン(dB): -9/-8/-7/-6/-5/-4/-3/ -2/-1/0/1/2/3/4/5/6/ 7/8/9 Qファクター: 1.35/1.5/2.0
2 Way クロスオーバー	
ツイーター	周波数(Hz): 1k/1.6k/2.5k/4k/5k/ 6.3k/8k/10k/12.5k ゲイン(dB): -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/ -1/0
フロント/リア(HPF)	周波数(Hz): Through/30/40/50/60/ 70/80/90/100/120/ 150/180/220/250 スロープ(dB/Oct.): -6/-12/-18/-24 ゲイン(dB): -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/ -1/0

サブウーファー(LPF)	周波数(Hz): 30/40/50/60/70/80/ 90/100/120/150/ 180/220/250/Through スロープ(dB/Oct.): -6/-12/-18/-24 位相: ノーマル/反転 ゲイン(dB): -8/-7/-6/-5/-4/-3/-2/ -1/0
--------------	--

ポジション	
2 Way	フロント/リア/サブウー ファー デイレイ 0 cm ~ 610 cm (2.0 cmステップ)
ゲイン	-8 dB ~ 0 dB
サブウーファーレベル	-50 dB ~ +10 dB

仕様

■ FMチューナー部

受信周波数範囲	76.0 MHz ~ 99.0 MHz
周波数ステップ	(100 kHz)
実用感度 (S/N: 30 dB)	7.2 dBf(0.63 μ V/75 Ω)
クワイティング感度 (DIN S/N: 50 dB)	15.2 dBf (1.58 μ V/75 Ω)
周波数特性 (\pm 3.0 dB)	30 Hz ~ 15 kHz
S/N比	68 dB(MONO)
選択度	> 80 dB(\pm 400 kHz)
ステレオセパレーション	40 dB(1 kHz)

■ AMチューナー部

受信周波数範囲	522 kHz ~ 1 629 kHz
周波数ステップ	(9 kHz)
実用感度	29 dB μ

■ 映像部

外部映像	NTSC/PAL
外部映像入力レベル (ϕ 3.5端子)	1 Vp-p/75 Ω
外部音声最大入力 レベル(ϕ 3.5端子)	2 V/25 k Ω
外部映像入力レベル (RCA端子)	1 Vp-p/75 Ω
映像出力レベル (RCA端子)	1 Vp-p/75 Ω

■ オーディオ部

最大出力	50 W \times 4
定格出力	22 W \times 4(THD1%未満)
プリアウトレベル	4 V/10 k Ω
プリアウト インピーダンス	\leq 600 Ω
スピーカー インピーダンス	4 Ω ~ 8 Ω

■ 電源電圧

電源電圧	12 V DC 車両バッテリー
本体埋込寸法 (幅 \times 高さ \times 奥行)	178 mm \times 100 mm \times 162 mm
重量(本体)	DDX6190BT: 2.3 kg DDX4190BT: 1.7 kg

仕様およびデザインは予告なく変更になる場合があります。

商標およびライセンス

- Dolby, Dolby Audio, およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの登録商標です。
- DVDロゴは、米国、日本、およびその他の国において登録されている、DVD Format/Logo Licensing Corporationの商標です。
- AACロゴはドルビーラボラトリーズの商標です。
- MicrosoftおよびWindows Mediaは、Microsoft Corporationの米国、および/またはその他の国における登録商標または商標です。
- Use of the Made for Apple badge means that an accessory has been designed to connect specifically to the Apple product(s) identified in the badge and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with an Apple product may affect wireless performance.
- Apple, iPhone, iPod, iPod nano, iPod touch, iTunes, and Lightning are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
- The trademark "iPhone" is used in Japan with a license from Aiphone K.K.
- IOSは、Ciscoの米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- This item incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. Reverse engineering and disassembly are prohibited.
- Font for this product is designed by Ricoh.

- Android is a trademark of Google LLC.
- The Bluetooth® word mark and logos are registered trademarks owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by JVC KENWOOD Corporation is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
- THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL USE OF A CONSUMER OR OTHER USES IN WHICH IT DOES NOT RECEIVE REMUNERATION TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)
- SPOTIFY and the Spotify logo are among the registered trademarks of Spotify AB.
- libFLAC
Copyright (C) 2000-2009 Josh Coalson
Copyright (C) 2011-2013 Xiph.Org
Foundation
Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:
 - Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 - Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.
- THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

保証とアフターサービス（必ずお読みください）

保証について

保証書 この製品には、保証書を添付しております。保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みの後、大切に保管してください。

保証期間 お買い上げの日より**1年**です。

修理に関するご相談は

修理などアフターサービスについては、当社ホームページまたはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。

● ホームページ

<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>

● JVCケンウッドカスタマーサポートセンター

0120-2727-87（固定電話からはフリーダイヤル）

0570-010-114（携帯電話、PHSからはナビダイヤル）

045-450-8950（一部IP電話など）

受付時間などは裏表紙を参照してください。

修理を依頼されるときは

「故障かな?と思ったら」(P.41)を参照してお調べいただき、それでも異常があるときは、本機の電源をオフにして、お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。

修理に出された場合は、お客様が登録、設定したメモリー内容が全て消去されることがあります。

あらかじめご了承ください。

保証期間中は...

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはJVCケンウッド・サービスが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後は...

お買い上げの販売店またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様の要望により有料にて修理いたします。補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後**6年**です。（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

持込修理

この製品は持込修理とさせていただきます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。（本機と一緒に持ち込まれるユニット内のディスクなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 本機を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

修理料金のしくみ（有料修理の場合は、つぎの料金が必要になります。）

- 技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- 部品代：修理に使用した部品代です。その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。



株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

0120-2727-87 (固定電話からはフリーダイヤル)
0570-010-114 (携帯電話、PHSからはナビダイヤル)
045-450-8950 (一部IP電話など) / FAX 045-450-2308
住所 〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間 月曜～金曜: 9:30～18:00
土曜: 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

- 修理などアフターサービスについては、当社ホームページ (<http://www.kenwood.com/jp/cs/service.html>) またはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。